

社会福祉法人養徳園

令和3年度事業報告

喜連川グループ

児童養護施設 養徳園

地域小規模児童養護施設オアシスの家

地域小規模児童養護施設野辺山の家

児童家庭支援センターちゅうりっぷ

夜間・休日体制整備事業

(児童虐待緊急ダイヤル)

氏家グループ

児童養護施設氏家養護園

地域小規模児童養護施設みやこ家

南小学童保育センター

令和3年度事業報告（養徳園）

1 運営全般について

令和3年度事業計画に基づき、基本的な生活援助の充実や心理面に配慮した援助に努めたほか、養育のガイドラインの策定を目指し、生活の質の向上、生き立ちの整理と育ちアルバムの実践、性的問題・子ども間暴力への対応、学習指導の充実、職業指導・リービングケア及びアフターケアの強化、施設養護におけるソーシャルワーク機能の充実、里親委託の推進を重点目標とし児童援助の向上に努めた。

また、給食、環境美化、安全管理、広報、運営改善の委員会を設けて、職員の一致協力の下、施設運営にあたった。

広報誌「オアシス」を年3回発行するとともに、ホームページを通じ情報の公開に努めた。

ユニットの運営や行事の運営については、本年度もコロナウィルスの拡大状況に振り回された1年で十分に実施できたとは言えないが、それぞれに創意工夫し子どもたちとの時間を大切にしたい。ただ、会議などがリモート開催になる場面が増え職員が直に顔を合わせる機会が減ったことで、職員の意思疎通が十分に取れなかったことは否めない。私たちが目指すもの、子どもたちの最善の利益について改めて考え合い、よりよい施設運営を目指していきたい。

2 児童の動向

(1) 学年別在籍数（措置児童）

令和3年4月1日現在（オアシスの家、野辺山の家を含む）

	未	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	他	計
男	3		2	1	3		3		1	2	3	6			24
女	2	2	2	1		1	1		2	3			2	1	17
計	5	2	4	2	3	1	4		3	5	3	6	2	1	41

令和4年4月1日現在（オアシスの家、野辺山の家を含む）

	未	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	他	計
男	2			2	2	3		2		2	5	1	4	1	24
女		3	2	2	1		1	1		2	3				15
計	2	3	2	4	3	3	1	3		4	8	1	4	1	39

(2) 月別入所者の状況（措置児童）

月	性別	初日在籍数	入所数	退所後				月末在籍数
				家庭復帰	措置変更	就職進学	その他	
4	男	24						24
	女	17						17

5	男	24						24
	女	17						17
6	男	24	1					25
	女	17						17
7	男	26	1					26
	女	17	1					18
8	男	26						26
	女	18						18
9	男	26						26
	女	18						18
10	男	27	1					27
	女	18						18
11	男	27						27
	女	18						18
12	男	27						27
	女	18						18
1	男	27		1				26
	女	18						18
2	男	26						26
	女	18						18
3	男	26	1		2	2		23
	女	18	1	1		2	1	15

(3) 一時保護委託（レスパイトケアを含む）利用状況

年齢・学年・性別	児相	期間	年齢・学年・性別	児相	期間
5歳女	県北	2/10~7/28	小3女	県北	10/1~10/25
3歳女	県北	2/10~7/28	小1女	県北	10/1~10/25
2歳男	中央	6/3~6/30	4歳女	県北	10/25~11/26
高1女	県北	6/3~9/19	2歳男	中央	10/25~11/26
5歳女	県北	6/16~7/1	17歳女	県北	12/15~1/29
中1女	県南	7/8~7/21	中2男子	中央	1/30~2/1
小2男	中央	7/30~8/4	小1男子	県北	2/28~4/4
小3男	県南	8/18~8/19	高2男	県北	3/1~3/9
小5男	県北	8/24~8/27	小5女	中央	3/13~3/27
2歳女	県北	8/24~8/27	高1女（レスパイト）	県北	3/27~4/4
高2女	県北	8/26~10/25	中2男	中央	3/30~4/1

(4) 高校進学、卒園生の進路等

中学卒業生
矢板中央高校（在園）
作新学院高等学校（在園）
さくら清修高校（在園）
石橋高校（在園）
南那須特別支援学校高等部（3名 在園）

3 養護の状況

(1) 給食

毎月行う献立会議を給食委員会時に行った。その話し合いを基に、子供の発達に必要な栄養バランス及び嗜好を考慮し食事を提供した。

委員会時には意見交換のために本園、分園、小規模の献立をまとめた資料を作成したが、前年度ほど活発な意見交換がなかったように感じた。次年度は話し合うべきポイント（朝食）を決めて意見交換を行いたい。コロナ禍という状況もあり、夏休みの子供たちと行うクッキング体験も中止せざるを得なかったので、次年度は計画的に行いたい。

(2) 健康管理

① 健康診断

嘱託医の花塚医師による健康診断を前期は令和3年6月8日、後期は令和3年10月23日に実施した。野澤歯科医院にて歯科検診は6月2日に実施した。

② 予防接種 総数 124件

日本脳炎 4件、麻疹・風疹 3件、二種混合 2件、四種混合 1件
子宮頸がんワクチン 8件、おたふく 3件、インフルエンザ 44件
新型コロナウイルスワクチン 59件

③ 健診

2歳半健診 1名、3歳半健診 1名

④ 通院 総数 411回 うち処方あり 186件

(1) 内科 19件
(2) 小児科 97件
(3) 眼科 25件
(4) 皮膚科 24件
(5) 整形外科 63件
(6) 耳鼻咽喉科 13件
(7) 歯科 63件
(8) 精神科 107件

⑤ 入院 1件

獨協医科大学病院 手術日 12月6日 顎裂骨移植手術
入院期間 令和3年12月4日～12月14日

(3) 援助の実際

① 生活の質の向上

(1回目)

4月22日(木) PM1:30～ 援助マニュアルの見直し、検討、事例の追加

- ・ユニットごと(すずらん、たんぽぽ、あすなろ、職員室、研修室、食堂)分かれ実施。
- ・事例の少ないところを重点的に検討(付箋に記入)。
- ・食堂に集合し、マニュアルの項目に合わせた事例ごとに記入した付箋を張り付ける。

(2回目)

12月1日(水) AM10:00～ ロールプレイ

- ・子どもと職員の日々のやり取りをA~Dグループ(すずらん、たんぽぽ、研修室、食堂)に分かれ、各グループ(2つの事例)実施。
- ・食堂にて、各グループ1事例ロールプレイ発表。

※令和4年度版 援助マニュアル

- ・新しい事例、事例番号の追加。
- ・養徳園職員になって初めて耳にした言葉や分からない言葉など(一覧)の追加。

(反省)

○園内研修について

・経験・年齢をもとのグループ分けをした。同年代の職員が集まり話し合う機会は多くはないため、楽しく気軽に意見交換ができ、リフレッシュの時間となった。一方で、他ユニットのリーダーや諸先輩方の考えを聞く機会も園内研修しかないとも思った。緊張したり、自分の意見を発信しにくい等のデメリットはあるが、メリットの方が多いようにも。(上級職員側からすれば新任若手職員とよりも同じ経験者とグループ組みたいかもしれませんが・・・)

・園内研修において、事例をたくさん出してもらったのは良かったと思う。勤務年数が長い職員でも、色々なことに悩み対応してきたことを若手職員が知ることができる。(本当は、日々の業務の中で話を聞ければ良いが、会わない職員もいるので。) 知ることによってこんなことが起こりうるという予想にもなるし、同じような出来事に遭遇した時のヒントになる。励みになる。

- ・ロールプレイ新鮮で良かったとの意見をもらった。
- ・さまざまな事例とその対応のいろいろなやり方を見られる点が良い。
- ・事例を一緒に検討し、職員間で価値観や意見のすり合わせをすることが結果的に養育の質、子どもたちの生活の質へ向上に繋がるのではないかと感じた。
- ・ロールプレイについて、グループ分けが勤続年数ごとにされていたので、全体を通して、様々な子どもとのやり取りを、立場の違う先輩職員の方々から見せてもらうことができ勉強になった。グループ内では、同じような立場の人たちと活発に話し合いをすることができたし、「こういうやり方もあるんだ」と新たな発見にもつながった。また、グループごとの発表の際に、話し合いの過程を具体的に聞くことができたので、ロールプレイの内容をより理解することができたように感じた。

・ロールプレイ好評だった。お題の内容は1グループ2題だったが、お題の子どもの情報をもっとほしいという声があり、時間的に1題で十分のようだった。普段やっていることなのにロールプレイとしてやってみると意外に難しい。なるほど。楽しい。勉強になる。やってみたい（参考にしたい）という声があり、内省にもつながる機会になったと思う。

・若手・中堅メンバーが分担し工夫し活躍してくれた。

○援助マニュアルについて

・余裕のある4～5月頃は新しいマニュアルの作成にこうしたいああしたいと考える余裕があったが、季節過ぎどんどん他業務に気を取られて後回しになってしまった。年2回の園内研修も、マニュアル作成に関する内容だけではないため、研修のための集まりでは結局マニュアル作りを進められず。マニュアル作成のための年間予定を立てて行動しておけばよかった。

・自分の中で、マニュアル作成までのビジョンが上手く思い描けていなかった。（いつ頃にどこまで修正して・・・確認して・・・印刷して・・・配布して・・・等）リーダー、サブリーダーに任せきりになっており人任せだったからこそ把握してない部分が多かった。

・園内研修とは別に、マニュアルのために話合う機会が私には必要だったと感じた。

・マニュアルを読むことで、日々子どもたちとの関わりを振り返ることができ、どのような意図で行うものなのか、そうしているのか等を改めて理解することができた。

・事例がたくさんあるのはイメージがつきやすく分かりやすい反面、重要な文章の部分が目に入りにくくなっているような気もする。

・園周辺マップみたいなものが簡潔なものでも一枚あると良いのではないかと思った。新任の頃は喜連川に来たのが初めてで土地勘がなく、最初は子どもたちの学校や病院の場所や職員が利用する場所（足銀、おなべや、郵便局・・・等）が分からなかった。話の中で出てきてもイメージできなかったのも、特に土地勘のない新任職員の人だけでもマップみたいなものがあると分かりやすいのではないかと思った。

② 性的問題・子ども間暴力への対応・被虐待児への治療的アプローチ

第1回は、事例2つを出し、そこから気になる言動、行動、考えられる理由、対応などをグループごとに話し合った。

第2回は、その事例を元にどんなことを取り入れた方が良いかを話し合った。

担当の子の性教育プランを立ててみた。

職員のチェックリストについてのアンケートをとった。

《反省》

2回目は新型コロナウイルス感染症対策として、みんなで集まることはせず、食堂やユニット、研修室とバラバラに行った。放送を使い共有したかったが、聞こえないところがあり、係が各部屋を回り説明をしなければならなかった。また、小学生の下校時間が早かったこともあり1時間弱で終了しなければならず、あわただしい研修となってしまった。

③ 職業指導、リービングケア及びアフターケアの強化

25年度より職業指導員が配置された。主な目的として、退所後の社会生活を想定して、生活に必要な知識及び経験を通しての技能の習得を支援する。(リービングケア)さらに、施設退所後の進学・就労を含む生活状況を見守り必要に応じた支援を行うことで、地域生活・職場への定着を図り社会的自立を促すこととした。(アフターケア)

具体的な取り組みとして、高校生は栃木ユースアフターケア事業協同組合主催の自立支援プログラムへの積極的な参加を促し、「性教育」「ネットの危機管理とセルフコントロール」「社会に役立つコミュニケーションについて」「法律教室」「料理教室」「テーブルマナー」(コロナ感染予防からテイクアウト形式で実施)研修などを通して自立への意識向上のきっかけ作りを行った。

またアフターケアとして、『ん太郎』氏の「短足おじさん」の会にお世話になり「成人式着物プロジェクト」において、卒園生への着物着付け・記念写真撮影等に参加して貴重な思いで作りの支援を行った。

さらに職員も支援意識向上のために、10月に「本当の自立とは」という園内研修を行った。内容は、子どもたちの将来像をイメージしながら「本当の意味での自立とは」について話し合った。卒園生の安定した生活を目標に、支援の意識を高めながら対応していきたい。

④ 学習の充実

4月

6月 園内研修打ち合わせ
資料作成

6月 園内研修

《公文に取り組んでいた中・高生の今》グループ討論

10月 公文ミニ表彰(学年超え・学年相当・多枚数・多読)

11月 創立記念日 公文表彰1名

3月 公文ミニ表彰

(反省)

今年度の園内研修は、昨年引き続き《公文に取り組んでいた中・高生の今》と題し、児童5名の事例をもとにグループ討論を行った。これまでの養育の中で、良かった点・悪かった点・こうした方が良かった点等を話合った。たくさんの意見が飛び交い、中身の濃い研修になった。

10月と3月に○金「学年超え」、○銀「学年相当」、○銅「多枚数」「多読」のミニ表彰を行い、11月の創立記念日では1名の子どもに「公文賞」が与えられた。子ども達が自らコツコツ学習できるきっかけになればと願う。

(今後)

宿題や公文学習の取り組みは定着している。引き続き学習習慣の定着と、職員のスキルアップを図っていきたい。

算数は、小学校卒業までに E（分数の計算/生活に必要な能力が身につく）教材終了を目指したい。国語は、個々のレベルに応じ音読・読解力の向上。さらには、学年相当・学年超えの子ども達を増やしたい。そのためには、月々の枚数を増やさなければならず、さらなるユニット公文の充実が不可欠である。

⑤ 里親委託の推進

令和3年度里親支援専門相談員の活動状況

令和3年度 里親家庭訪問報告書	
・実施日	令和3年5月12日(水)・対象里親 (Ko)
・実施日	令和3年5月15日(土)・対象里親 (Ki)
・実施日	令和3年5月17日(月)・対象里親 (Kam)
・実施日	令和3年6月26日(月)・対象里親 (I)
・実施日	令和3年7月21日(水)・対象里親 (Kam)
・実施日	令和3年12月15日・対象里親 (Kaw)
令和3年度 里親来所相談報告書	
・来所日	令和3年10月15日・来所里親 (I)
上記の相談内容について児相とのカンファレンス	
・実施日	令和3年11月 5日・場所 中央児童相談所

(4) 社会教育への参加

① サッカー教室

小学生3名が地域のサッカー教室に参加。

② 野球教室

小学生1名が地域の野球教室に参加。

③ 太鼓

小学生1名が喜連川公方太鼓に参加。

(5) 育成会活動

養徳園では、地域交流の一つとしてさくら市子ども会連合会に養徳園子ども会として小学生以上から高校生、ケアワーカーを主に育成者として入会し、子ども会へ参加してきた。

また、野辺山の家も地域の子ども会に入会し行事等に参加している。

活動内容

コロナ感染防止に配慮しながらユニットごとのお楽しみ会、キャンプ、日帰りや一泊での旅行、一万人プールを少人数で実施した。

成果・課題

コロナ禍において例年のような行事は行えなかった。今後も感染の動向を見ながら子どもたちの活動の場を模索していくことになるだろう。

子どもたちの安全面から、登下校の交通指導はこれからも継続していきたい。

(6) 防災訓練等

活動内容

・年間防災訓練計画の作成、それに基づき各月に避難訓練及び消防訓練を行う。また、緊急連絡網の作成、緊急時対応マニュアルの配布、各ユニットに避難経路等の確認を行う。さらに12月には喜連川消防署による総合消防訓練として、通報訓練・避難訓練、水消火器による実習訓練を行った。非常時用バッグ、非常時の備品、賞味期限など定期的に確認して万一の事態に備えている。職員は、7月に「AED」講習を受けて、使い方を体験・経験した。

成果・課題

- ・避難訓練は各月に実施。その訓練時には講話を行い、防災意識を高めるために、火の特徴・煙の怖さ・火事の原因などのイラストを見せ説明を行い、子どもたちも関心をもって参加している。
- ・12月の総合消防訓練は、消防署員に協力いただき実施して、万一に備えての貴重な経験になった。
- ・非常食の賞味期限を確認して、処分・不足分補充を行った。
- ・非常時防災バッグの中身のチェック、補充を行った。

4 委員会活動

別紙参照

5 行事

種別	日時	行事名	場所(行先)	参加者数		
				児童	職員	その他
園内行事	4/4	炊き出し	園庭	42	20	
	5/2	GW ユニットで映画鑑賞(あすなろ)	あすなろユニット	5	2	
	5/2	GW とちのきファミリーランド(野沢ホーム)	とちのきファミリーランド	6	4	
	5/2	GW カヌー体験(なのはな)	那須烏山市	4	3	
	5/4	GW とちのきファミリーランド(たんぼぼ)	とちのきファミリーランド	4	3	
	5/4	GW バーベキュー&外食(すずらん)	水辺公園・すたみな太郎	5	3	
	5/5	GW 映画鑑賞(福田ホーム)	TOHOシネマズ	4	3	
	6/15	幼児遠足	なかがわ水遊園	2	3	
	7/4	七夕	食堂・ホール			
	7/17	奉仕作業	園庭、各ホーム他	全	全	
	7/21	公文集中勉強会	食堂	18	4	

	7/30	一万人プール(なのはな)	一万人プール	1	1	
	8/3	一万人プール(野沢ホーム)	一万人プール	5	3	
	10/11	七五三前撮り	スタジオアリス	6	6	6
	11/13	七五三	御嶽山神社	4	3	3
	11/26	創立記念日	生活指導室	全	全	
	11/28	ユニット外出(すずらん)	ラウンドワン	6	4	
	12/4	総合避難訓練	園庭・生活指導室			
	12/12	奉仕作業	本園・各ホーム	全	全	
	12/24	クリスマス会	本園・各ホーム	全	41	
	1/	カレンダー製作				
	1/	つるしびな製作				
	3/3	ひなまつり	各ユニット	全		
	3/26	児童送別会	研修室・リモート	全	全	
	3/31	児童と職員のお別れ会	研修室・リモート	全		
地域交流	新型コロナウイルス感染防止のため実施されず					
施設交流						
招待事業						

6 施設の社会化

(1) 生活指導室の地域開放

市居合道部が毎週月・水・金、練習のために利用している。

(2) ボランティアの受け入れ

R3	4/10	他3回	光と風の家様	読み聞かせ
	4/18		パソコン太郎様	オンライン講演会「ネットの楽しみ方」
	5/5		齋藤秀夫様	花火
	6/12		土屋利夫様	じゃがいも堀り
	6/19		野澤佑佳様	チアダンス教室
	7/27		アルゼンチンサッカークラブ様	スポーツ教室
	9/19		土屋利夫様	さつまいも堀り
	11/13		美容室 RICO 様	七五三髪結い・着付け
	11/13		御嶽山神社様	七五三
	11/27		野澤佑佳様	チアダンス教室
	12/9		更生保護女性会様	チューリップ球根植え
	12/18		光と風の家様	クリスマス会

2/19 NPO 法人 森と家を結ぶ会様

家具製作・各所修繕

*新型コロナの状況をみながら、感染対策を十分に行なった。

尚、飲食を伴う内容のボランティアは残念ながら保留・または延期となっている。

(3) 社会人先生

令和3年度は新型コロナ感染拡大防止の観点から開催を見合わせた。

(4) 感謝の日

令和3年度は新型コロナ感染拡大防止の観点から開催を見合わせた。

7 施設見学・研修・実習生の受け入れ

(1) 施設見学・研修

※施設見学は新型コロナ感染拡大防止の観点から受け入れなし。

(2) 施設実習

(保育士)

県内 作新短期大学6名、佐野短期大学2名、TBC4名、白鷗大学2名、足利短期大学2名
宇都宮ビジネス電子(2名は中断し来年度に) 3名、宇都宮共和大学2名

小計 21名

県外 東京家政大学2名、国学院大学1名、大妻女子大2名、東京未来大2名、聖徳大学2名

小計 9名

(社会福祉士)

県内 国際医療福祉大学4名

小計 4名

合計 32名

8 職員研修

(1) 法人内研修

・社会福祉施設の運営(新任)

大谷氏家養護園長、豊岡事務長(4/21)

・広い視野御持ったための勉強会(新任)

はなの家・月の家・星の家(5/6)

雄国沼(6/2)

・アタッチメントとトラウマの理解(新任職員)

東(6/16)(7/7)

・レジェンドとの座談会(新任職員)

加藤、森、斉藤、酒井(12/15)

・権利擁護と養育の基本

総合施設長 (9/2)

- ・中堅・若手が語る児童養護
大根田、大島、竹村 (1/12)

(2) 園内研修

- ・事業計画における重点目標について園内研修を実施した

〈施設処遇援助事業〉

- ・『児童養護施設におけるライフストーリーワーク』
講師：児童養護施設 子供の家 治療指導担当職員 檜原真也氏 (ZOOM 10/18)

(3) 施設外研修

栃養協研修事業及び部会研修

施設外研修

日時	研 修 名	場 所	参加者
5/21	SBI ブロック別児童養護施設職員リーダー研修会	オンライン研修	菅原
6/15	令和3年度 第3回児童相談業務担当研修(新任職員基本研修)	オンライン	定方
6/23	令和3年度 児童相談業務担当研修 令和3年度 家庭支援基礎研修	オンライン研修	定方
9/9	子どもの虹 2021年度 児童養護施設指導者研修	オンライン研修	金澤
9/21	アフターケア関係職員研修	オンライン研修	東
10/27	第74回全国児童養護施設長研修協議会	オンライン研修	加藤
12/4.5	日本子ども虐待防止学会 第27回学術集会かながわ大会	横浜市 (パシフィコ横浜)	福田
12/13~17	令和3年度社会的養護を担う児童福祉施設長研修会	オンライン研修	加藤
12/8	第35回 関東ブロック児童養護施設職員研修会	オンライン研修	定方
2/8~3/10	ファミリーソーシャルワーク研修会	オンライン研修	福田

栃養協研修事業及び部会研修

	日時	研修内容	場 所	参加者
新任職員研修	4/27	・社会的養護の基本的な理解と養育者としての心構え 講師：福田 雅章 氏 ・措置制度及び児童養護施設の現状と課題について 講師：藤田 早 氏	青少年センター	飯塚,白鳥 定方,熊谷
	6/10	・社会的養護の歴史とこれからについて 講師：福田 雅章 氏 ・社会人としてのマナーとチームワークに貢献する仕事の進め方 講師：(株)ワークエントリー 田代 知美 氏	オンライン	飯塚,白鳥 定方,熊谷
	9/9	・乳幼児期・児童期・思春期・青年期の発達～子どもとの関わり方～ 講師：杉原 聡子氏	オンライン	飯塚,白鳥 定方,熊谷
	11/4	・トラウマを抱える児童に対する支援について 講師：中山 和幸 氏 ・施設と学校の連携について 講師：土屋 佳子 氏	オンライン	飯塚,白鳥 定方,熊谷
若手職員研修	7/8	・社会的養護内容 3・4 アドミッションケア・インケア 講師：福田 雅章 氏 ・障害者福祉の仕組みと事例検討 講師：若倉 健 氏	オンライン	窪田,安達 田代,箱崎
	8/20	・ペアレントトレーニングを活用した支援について(基礎コース 1日目) 講師：杉原 聡子 氏	オンライン	窪田,安達 田代,箱崎
	9/14	・ペアレントトレーニングを活用した支援について(基礎コース 2日目) 講師：杉原 聡子 氏	オンライン	窪田,安達 田代,箱崎
	11/19	・発達臨床心理学 ～発達支援及び問題行動の理解と援助のために～ 講師：秋場 博 氏 ・第 9 回被措置児童等の権利擁護・虐待根絶のために 講師：山田 勝美 氏	オンライン	窪田,安達 田代,箱崎

中堅職員研修	6/24	<ul style="list-style-type: none"> 社会的養護内容 リービングケア・アフターケア 講師：福田 雅章 氏 リーダーシップと組織のマネジメントについて 講師：田代 知美 氏 	オンライン	大島
	8/5	<ul style="list-style-type: none"> 新任職員を支えるための指導・教育・組織のマネジメント 講師：田中 浩之 氏 こども間の暴力防止について～スーパービジョンの観点も交えて 講師：藤岡 孝志 氏 	オンライン	大島
上級職員研修	7/21	<ul style="list-style-type: none"> 今日の課題と将来像について 講師：福田 雅章 氏 施設の管理運営とマネジメントについて 講師：藤本 早 氏 施設のチームケア・組織力について 講師：田中 浩之 氏 	オンライン	栗林,滝澤
	10/21	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関連携について 講師：直井 茂 氏 社会的養護における人材育成 講師：坪井 真 氏 	オンライン	栗林,滝澤
幹部職員研修	7/21	<ul style="list-style-type: none"> 今日の課題と将来像について 講師：福田 雅章 氏 施設の管理運営とマネジメントについて 講師：藤本 早 氏 施設のチームケア・組織力について 講師：田中 浩之 氏 	オンライン	人見
	10/21	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関連携について 講師：直井 茂 氏 社会的養護における人材育成 講師：坪井 真 氏 	オンライン	人見
	2/3	<ul style="list-style-type: none"> 不適切な対応を防ぐ施設の運営について 講師：中山 正雄 氏 ～つながる～共有と共感から生まれるチームマネジメント 講師：田代 知美 氏 	オンライン	人見
	11/16	被措置児童虐待防止研修 <ul style="list-style-type: none"> 社会的養護における高度な専門性を執拗とする知識や援助技術に関すること 講師：山田 勝美 氏 	オンライン	飯塚,白鳥 定方,熊谷 安齋

施設長	5/13	・第1回施設長会議	県庁 オンライン 県庁 オンライン 県庁	
	8/31	・第2回施設長会議		
	11/4	・第3回施設長会議		
	2/24	・第4回施設長会議及び性教育についてのセミナー		
	3/24	・第5回施設長会議		
CW 部会	12/7	・第1回部会 役員改選、各施設の近況報告、研修内容確認		
	7/9	・第1回部会 事業計画、その他		
FSW 部会	1/14	・第2回部会 「精神疾患についての基礎知識」 講師：家入 香代氏		
	7/16	・第1回部会 役員改選、R2事業報告、R3事業計画		
心理 部会	11/11	・第2回部会 事例検討		
	12/20	・第3回部会 施設入所児のライフストーリーワークについて		
	3/4	・第4回部会 今年度の活動内容について、次年度に向けて		
里親 支援 部会	5/25	・第1回部会 役員改選、R2事業報告、R3事業計画		
	7/15	・第2回部会 児相との話し合い		
	9/16	・第3回部会 うえだみなみ乳児院との情報交換		
	11/18	・第4回部会 とちぎフォスタリングセンターへの協力について		
	2/10	・第5回部会 里専活動状況、子どもの権利擁護についての現状を 児相と情報共有		
	3/18	・第6回部会 施設里専の課題把握、ふれあい里親申請方法変更に ついて、R3振り返りと次年度の予定		
会	10/26	・第1回部会 役員改選		

	11/21	・第2回部会 「食パンについての講和」 講師:福田 信夫氏 ユースアフター合同調理コンテスト		
看護師部会	6/3	・第1回部会 今年度の研修について		
	7/26	・第2回部会 「新型コロナウイルス感染予防について」 講師:野澤寿美子氏		
書記部会	12/10	・第1回部会 措置費の改正点について		
	3/4	・第2回部会 措置費について、R3事業報告、総括と次年度計画		

令和3年度 地域小規模児童養護施設事業報告

『オアシスの家』

平成19年11月1日(土)開所

・子どものメンバー

令和3年4月1日～令和3年4月10日 6名

幼稚園年長女児	1名
小学6年男児	1名
中学3年男児	1名
高校1年男児	1名
高校2年男児	1名
高校3年女児	1名

・職員 4名

人見(♀保育士)
平野(♂保育士)
古川(♀常勤)
佐藤(♀非常勤)

高校1年男児不適應でユニット移動

令和3年4月11日より5名

令和3年6月25日 中学3年男児入所し6名

令和4年3月20日 高校3年女児卒園

令和4年3月28日 中学3年女児入所

○通学状況

喜連川幼稚園

喜連川小学校

喜連川中学校

さくら清修高等学校

矢板中央高等学校

○行事報告

○定期通院状況

現在は特にない

○生活状況

・新年度本園より高校1年男児が入るが5日間生活し不適應で本園に戻る。他の子の生活は特に変わらず。6月25日中学3年男児が入所したことで小学6年男児とのトラブルが絶えず3カ月程落ち着かない状態だったが徐々に落ち着いた。

・高校受験生が2名いたが、緊迫した雰囲気にならない状態で受験を迎えることができた。

・高校3年女児は就職先も決まり3月20日より一人暮らしを始め社会人としての一步を踏み出した。

コロナ禍だったため生活・行動の制限があったが一人一人が状況を受け入れ生活してくれた。

○今後の課題

- ・令和4年度はそれぞれ違う学校に通う高校生4名、中学生1名、小学生1名というメンバー構成になり、部活動等で6名が一緒になる時間は減ってしまうが、時間が合う時にはその時間を大切に過ごしたい。
- ・一人一人が安心して生活できる環境を整えていきたい。

『野辺山の家』

平成22年 4月1日(木) 開所

R3. 4. 1～R4. 3. 31 まで5名

- | | |
|------------|-----------|
| ・子どものメンバー | ・職員 4名 |
| 小学4年 男児 1名 | 菅原(女) 保育士 |
| 小学6年 男児 1名 | 金澤(男) 指導員 |
| 高校1年 男児 1名 | 白鳥(女) 指導員 |
| 高校2年 男児 1名 | 小林(女) 非常勤 |
| 高校3年 女児 1名 | |

○通学状況

- ・喜連川小学校(徒歩)
- ・高根沢高等学校・宇都宮青葉高等学園・馬頭高校(自転車・バス・電車)

○行事報告

- | | |
|---------|----------------------------|
| R3.5/3 | GW BBQ(家の庭で行う) |
| R3.7/21 | お楽しみ会(ピザやお寿司をテイクアウトしての食事会) |
| R3.8/24 | お楽しみ BBQ(家の庭で行う) |

- ・季節の行事は子どもたちと一緒に室内を装飾し行事に合わせたメニューを調理し由来を伝えながらお祝いをした。クリスマスは子どもたちのアイデアで協力しパーティーを行うことができた。
- ・コロナ渦でなかなか外出できなかったが、庭でBBQをして楽しい時間を過ごした。
- ・誕生会はみんなで誕生者のお祝いし、誕生外食で担当CWと1対1の時間を大切にした。
- ・昨年度と同様にコロナの影響で外食など子どもたちの要望に応えることが難しかった分、テイクアウトなどで工夫した。

○定期通院状況

- ・高校2年 男児 黒須病院内科
コレステロール数値が高いため通院。体質か遺伝かどちらともか長期的な観察が必要。定期的(半年)

に検査。要観察。

- ・小学6年生 男児 とちぎりハビリテーションセンター
- ・高校1年男児 西真岡アクセプトインターナショナルクリニック 月2回通院。

○心理士によるセラピー（本園：毎週1回実施）

- ・高校3年 女児 1名

○生活状況

- ・プライベート空間や境界線など、子どもと話しながら自分の時間を過ごすようにした。
- ・近場や家など全員で共有できる時間を持つことで、自分の気持ちを言葉にできるようになってきていると思う。
- ・小学4年 男児 1名
8月に母親との面会が5年ぶりあり、現在も母親と面会、外出の交流が続いている。
- ・高校1年生 男児 1名
4月に県立高校に入学。ゴールデンウィークを過ぎたあたりから欠席するようになり6月から不登校。本児の意向により1/18付けで高校を自主退学した。3/11~3/30生活の立て直しのきっかけ作りとして一時保護となった。サポートステーション他、居場所づくりやグループホームへの移行に向け体験していく方向でいる。
- ・高校2 男児はコレステロール値が安定している。遺伝の可能性が高いかもしれないとのことで食事制限がなくなったが、本人なりに食するものを気にするようになった。服用に際しては忘れやすいため声掛けが必要。
- ・高校女児は、勉強、検定、アルバイトに積極的に取り組んだ。失敗を繰り返しながらも両立し無事卒業した。企業に正社員として採用が決まり3月中旬から一人暮らしを始めた。

○今後の課題

- ・子どもの言動や変化に気を配り一人ひとりが落ち着いて生活できる環境。共同生活において個々の思いや考え将来をイメージし話せる雰囲気作りに心がける。メンバーの入れ替えなどにより再度全体的な見直しや改善は必要。
- ・地域との交流がコロナ禍により無い状況ではあるが、子ども同士の交流やイベントの参加など感染対策をしながら積極的に行っていく。

令和3年度各委員会報告

『給食委員会』

実施月	食育（テーブルマナー、食育便り、クッキング	畑の活用
内容（提供元）	グ、炊き出し、行事食）嗜好調査	
4月	行事食→入学祝	・畑活用について話し合い
3月献立、その他 について 活動計画（炊 事）	・炊き出し4/4実施 ・委員会実施4/14	・除草 ・耕作 ・肥料（4/21）
5月	行事食→柏餅	・耕作（4/22）（5/12）
4月献立、その他 について ・こどもの日 （野辺山）	・委員会実施5/14	・畝たて、マルチ張り（5/13 5/14） ・苗の手配（5/16納品） ・苗植え（各ユニット） 他・・・かぼちゃ3種、種まき （5/31苗植え）
6月	行事食→いわし（旬の食材）	・除草（各自）
5月献立、その他 について ・衛生管理につい て （炊事場）	・委員会実施6/15 ・梅収穫	・きゅうり、小玉スイカ苗植え（6/1） ・ピーマン苗植え（6/?） ・畑にわらをしく（6/6）
7月	行事食→そうめん、ゼリー、たこ、ウナギ	・除草（7/15）
6月献立、その他 について ・七夕 （オアシス）	委員会実施7/15 ・職員調理実習（乾麺の茹で方）7/27	・川の土手草刈り（片桐） ・きゅうり、ピーマン収穫
8月	行事食→かまのふたまんじゅう	・除草（各自）
7月献立、その他 について ・夏休みクッキン グ （炊事場）	・委員会未実施（意見、感想はメモで対応） ・夏休みクッキング体験（パン） （8/6、11、17）コロナ状況を鑑みて2回目、 3回目中止	・つる返し ・きゅうり、ピーマン収穫 ・スイカ収穫
9月	行事食→おはぎ	・かぼちゃ収穫

8月献立、その他について ・お月見 (なのはな)	・委員会未実施（意見、感想はメモで対応）	
実施月	食育（テーブルマナー、食育便り、クッキング	畑の活用
内容（提供元）	グ、炊き出し、行事食）嗜好調査	
10月	行事食→だんご、かぼちゃ料理	・さつまいも弦切（10/2）
9月献立、その他について ・畑の収穫 (あすなろ)	・委員会実施 10/15 ・畑片付け（10/15）	・さつまいも収穫（各ユニット） ・片付け ・苦土石灰、肥料
11月	行事食→七五三、創立記念日	・耕作
10月献立、その他について ・七五三 (たんぼぼ)	・委員会実施 11/15	
12月	行事食→かぼちゃ料理、年越しそば	
11月献立、その他について ・風邪予防、体を温める食事 (炊事場)	・委員会実施 12/15	
1月	行事食→七草がゆ、鏡開き	
12月献立、その他について ・おせち (野沢 H)	・委員会実施 1/14	
2月	行事食→しもつかれ、恵方巻、イワシ、赤飯	
1月献立、その他について ・バレンタイン (すずらん)	・委員会未実施（意見感想はメモで対応）	
3月	行事食→ひなまつり、ぼたもち、卒業祝い	
2月献立、その他について ・ひなまつり (炊事場)	・委員会実施予定 3/7	

2022（R3年度）給食委員会反省

① 今年度の活動について

- ・献立入力をつい後回しにしてしまい、まとめて入力することになり大変だった。
 - ・個人的に朝食に使う野菜が少なかった。
 - ・夏休みのクッキング、全員で参加することが出来て良い経験になった。コロナの状況次第だがクッキングの機会を多く持ちたい。
 - ・子どもたちと季節の食材を使った料理、お菓子をユニット内でも作りたい。
 - ・夏休みの子供とのパン作りは好評の様なので、お菓子作り等入れてもらえないかと思います。（例 クッキー作り）
 - ・入所児童（高校生）が魚料理、野菜などを全く食べてくれなくて悩んだ。
 - ・ユニット内で食事について話し合う機会をもっともつべきだと感じ、来年は定期的に話し合いができればと感じた。
 - ・昼食、夕食の献立を入力するのが大変だった。
 - ・朝食献立表を参考にし、バリエーションが増えて子供たちも喜んでいて。
 - ・夏休みクッキング体験（パン作り）子供たち、とても喜んでいました。次年度もやってほしいと希望がありました。
 - ・献立表を提出することで、一人一人の献立への意識が高まり、充実していったと思う。
 - ・3食分の献立を入力するのは大変だった。
 - ・食育日より、子供の不人気メニューを載せるのはどうか。人気のメニューを載せるだけでも良いのではないか。
 - ・今後も栄養士に分園に回ってもらい、食事の雰囲気を見てもらいたい。
 - ・食育よりの写真について、勝手に使用したと子供から苦情があった。
 - ・献立入力表、インク紙代がもったいないので電子化した方が良いのでは。
 - ・コロナの影響もあり、お炊事の方が子供たちから直接声を聞くことがなくなった。
 - ・コロナ禍が続く中、こども、職員、お炊事がつながる形をとれないか。
 - ・献立入力表は紙ベースでもらえ、ファイリングしていたので気になった時に見ることが出来て良かった。
 - ・食育日より、子供たちはよく見ている。ユニットによって好きなもの苦手なもの感想が違ったりすることが話のネタになっている。
 - ・子どもたちの調理体験、たくさん行ってほしい。
 - ・毎月の食育よりは、ユニットの行事の様子から食を通して子供たちのやりとりが見られて良かった。
 - ・どのユニットも朝から色々なおかずを出すよう努力しているなど感じました。
- 朝食のメニューの中でも人気なメニュー（よく食べる）は何か気になりました。
- ・献立表の各ユニットの入力の必要性はあったのだろうか。どうしても入力したいのであれば、朝食だけでいいのではないか。本園は朝食のみ入力だが分園は昼食、夕食入力していて大変だと思う。使用食材を入力しているわけではないし献立名だけ見てもわからないと思うのですが・・・

- ・コロナ禍のため、何度もクッキングが中止になり残念だった。
- ・コロナ禍の状況、食数が増えたことにより、厨房内業務に手がいっぱいになってしまった。
- ・献立入力表がユニット職員さんにとって役に立つものであったか、気になっている。次年度どのようにするかは未定だが入力する方法・内容などをもう一度検討した方が良いのではと感じた。(期日までにただ入力すればいいのでは?という感じになっていたような気がした)
- ・昨年同様、使用する食材がとても多く感じる。分園、小規模の昼、夕もそう感じる。

② 畑について

- ・畑の作業が近所のラーメン屋さん次第なところがありネックだった。行動が制限された。
 - ・きゅうりが苦手な子が、畑でとったきゅうりは食べられる!と言っていたので食育として良かったと思った。
 - ・畑の作業、あまり出来なかった。野菜の収穫、子供たちと一緒に収穫できたのが良かった。収穫の喜びを感じられ、子供たちも収穫した野菜を喜んで食べていた。(特にきゅうりが人気)
 - ・畑の除草作業にあまり参加できず申し訳なかった。もっと参加すべきだった。
- きゅうり・ピーマン収穫が自由に出来たことが子供たちにとって良い経験になったと思います。ありがとうございました。
- ・さつまいも苗の数量は、収穫量に対して食べきれぬ量だったのでちょうど良かった。
 - ・収穫時期をもう少し早めた方が良かったのではないかと。大きくなりすぎて1本を1回で使い切れなかった。
 - ・除草場所を各ユニット決めたことは良かったと思いますが、共通の場所(サツマイモ以外の場所)など全体として時間をとって行っても良かったのではないかと思います。
 - ・夏場、畑のきゅうりを時々いただくことが出来て助かりました。
 - ・夏野菜の収穫、子供たちも楽しんで行っていた。朝食やお弁当に大活躍した。
 - ・日にちを決め、皆で作業を行うのは難しかった。
 - ・次年度、収穫したさつまいもを干し芋に加工するのはどうか?
 - ・畑のさつまいもは、事前に数回うなったことや例年より多めに肥料を入れた。想像以上に収穫できたので良かった。
 - ・肥料まき、除草作業など多くの方に助けられました。
 - ・さつまいもは畑半分の広さでちょうど良かったと思います。
 - ・炊事場に畑の除草作業などお任せしすぎてしまった。皆で集まって作業するというのはなかなか難しいと思うので、次年度は畑の作業を委員それぞれ係に分かれ作業するという方法でも良いのではないかと。
 - ・夏休み、本園子供たちと一緒に収穫を行い皆で分けた。楽しんでいた。
 - ・今年はさつまいもの他にかぼちゃ、きゅうり、ピーマン、すいかを植え、作業は大変だったが、収穫の喜びを感じられ、良かった。
 - ・除草作業は分担区域を決めていたのもあり、やっている場所、やってない場所で差が出ていた。
 - ・次年度のさつまいも畑区域は各ユニットとフリー1か所ということにし、自家センは必要ないのでは?(今年度は収穫したさつまいもを子供のために使用していなかったようなので)
 - ・その他の野菜は早い時期に何を作るか計画して、年間を通して畑を活用出来たらいいと思う。

・夏休みまでは畑の作業に意識を向けられたが、夏休み中～以降、調理業務で手一杯になり、実っていたものを腐らせてしまったり、無駄にしてしまったと感じた。子供たちと職員さんが収穫してくれたのは非常にありがたかった。

次年度もさつまいも、そのほかの野菜を栽培し有効的に活用したい。

『環境美化委員会』

環境美化の目的

・日々の生活の中で、子ども達が「自分は大切にされている」という肯定感を育めるような調和のとれた

心地良い住環境作り。

年間活動

- ・倉庫の整理。花壇の除草。園庭、園周りの除草、清掃。
- ・年2回の奉仕作業の計画、実施。
- ・朝、週1回の園庭の清掃。

事業内容・反省

修繕	定期点検(網戸・レール・戸・非常灯・壁等)を促し、毎月の職員会議にて各ユニット等から修繕箇所を申告してもらい、業者に依頼。
花壇・園庭 ちゅうりっぷの修繕	ちゅうりっぷ周りの草取り。ちゅうりっぷ内の環境美化。花壇や園庭の手入れが行き届かなかった。植木の剪定は必要だと思う。係の判断に任せてほしい(剪定の時期や長さなど)
衛生の日	預かりの子どもの対応でなかなか活動に参加出来なかった。衛生の日ポスター作りは、3か月ごとに作成しましたが、間に合わず抜けてしまった月があった。 洗濯場の蛍光灯を交換した際に乾燥機上部も清掃したが、定期的には清掃出来ればよかった。
草刈り すずらん修繕	除草作業、回数、タイミングともに昨年度に比べて的確に行えたように思う。 草刈りに使う道具(ゴム手袋、ゴーグル等)の共用の物がほしいと感じた。草刈り機については、現在2台が使用可能となっているが、可能であればもう1台あるとより作業しやすいと感じた。 ゴミ捨ては、現在クリーンセンターまで個人のゴミと言うことで捨てに行っているが、住所の確認などもあるので、きちんと手続きをして、どのようなゴミであっても誰でも捨てに行けるようにした方が良いと感じた。 ワックスがけがあまり行えなかった。

生活指導室	<p>例年に比べ、物も少なく整理されていた。</p> <p>東側の天井がズレて隙間がある。</p> <p>蛍光灯が切れており、創立記念日に気が付く→後日直す。</p> <p>子どもたちが遊ぶ際や行事で使用する際に確認をした。置いてあるものは、壊れるなどなく使用できる。天井周りの手の届かない所の修繕は、豊岡さんに報告し修繕依頼が出来て良かった。</p>
1F廊下、下足室	<p>ワックスがけが広範囲のため、回数的にも時間が取れず出来なかった。今月あと一回は時間を作りやれるように努力していく。</p> <p>下駄箱の掃除も回数を増やせたら、良かったと反省した。</p>
オアシスの修繕	<p>年間を通して計画通りに進めることが出来た。</p> <p>4月 春の花植え替え</p> <p>6, 7, 8, 9月 草刈り</p> <p>7月 オアシス大掃除</p> <p>10月 草、花の植え替え</p> <p>12月 全員で大掃除、正月用の寄せ植え作り</p> <p>2月 オアシス物置の片付け</p> <p>今年度もコロナ渦の中、少しでも癒しと安らぎの空間を与えたいと思い、室内には花や鉢物を飾ってみた。また、夏には色々なアサガオの種をまき、グリーンカーテンを作り、省エネにつながる工夫もした。家庭菜園では、トマト、ナス、キュウリ、スナップエンドウを育てて、子ども達と一緒に食の楽しみを感じることが出来た。次年度も、このような感じで年間の作業を進めていきたいと思っている。</p>
野辺山の修繕	<p>野辺山は、山に囲まれているので、虫が出やすく、今年の夏に不明の小さな虫が大量に発生し、キッチンの台にいたりテーブルに飛んで来たりと驚かされた。ムカデ等も出るので、今年度は業者の人に床下に薬をまいてもらったが、その結果はまだわからない。暖かくなるにつれ虫が出てくるので、その対策に四苦八苦しているが、負けずに退治していきたい。ボランティアの方に柵を作ってもらったので、活用していきたい。</p> <p>子ども達が着られなくなった服、ズボン等使わなくなった物など自室が散乱してくると、子どもとCWと一緒に断捨離をした。</p> <p>カーテンを洗った。(1回)</p> <p>床にワックスを塗った。(1回)</p> <p>暮れにみんなで自室の大掃除をし、綺麗にした。</p> <p>換気扇、エアコンのフィルターなどは、汚れたらその都度洗うようにした。</p> <p>庭の草刈りは、伸びたら刈った(3回)</p>

福田ホームの修繕	落ち葉履き、草むしり、駐車場の屋根の落ち葉落とし 定期的に来出来なかった。家の中の環境美化が出来なかった。
たんぼぼの修繕	・プランターで野菜を育てた。観葉植物購入 ・壁直し ・不用品処分 ・ワックスがけ
すずらんの修繕	・ワックスがけ ・不用品処分 ・トイレの水漏れ点検
あすなろの修繕	・洗面所、脱衣所の排水口修繕。・不用品処分 ・入口のドア戸車直し、ワックスがけ
野沢ホームの修繕	・5月ムカデの葉散布・8月室内のガラス修理 ・11月ガラス窓修理・3月和室の畳替え 損壊した際、すぐに修理依頼をし、修繕することが出来た。しかし、建物が古いため建付けが悪い部分もあるため、工夫して対応している。 委員会活動は、年間を通して、予定していた場所の掃除がされていたと思う。また、参加者も、その日集まれる人にする事で、職員の負担も軽くなったように思う。来年度も、同じような方法で活動してもよいと感じた。
なのはなの修繕	毎月1回お風呂の漂白。随時、庭の草むしり 5月 不用品整理 7月 陽斗部屋クローゼット片付け 10月 共用クローゼット片付け 1～3月 共用クローゼット不用品処分 衛生の日に子どもたちに声掛けをし、自室の清掃を実施することが出来なかった。
段ボールの回収	段ボールが集まったら、えがおの手塚さんに連絡を取り回収に来てもらった。

事業実施内容

4月	今年度の事業計画・衛生の日
5月	衛生の日・3連倉庫の掃除 5/20・除草剤散布①・草刈り
6月	衛生の日・1F男子風呂掃除
7月	衛生の日・奉仕作業・草刈り・除草剤散布②
8月	衛生の日・階段下倉庫掃除
9月	衛生の日・草刈り 9/16・除草剤散布③
10月	衛生の日・布団部屋清掃・南廊下倉庫清掃・各ホーム清掃
11月	衛生の日・布団部屋、面接室前倉庫、南廊下倉庫、カンファレンス室掃除 11/19・

	正門の花壇、畑の三角コーナーの草取り、花壇の周りの草取り
1 2 月	衛生の日・奉仕作業・自分の担当の場所の清掃
1 月	衛生の日
2 月	衛生の日
3 月	衛生の日・今年度の反省

5 月 GW 明け 火、草むしり 朝の打ち合わせ後 10 分程

(反省)

- ・火曜日の草むしり、毎年のことだが、夏休みを挟むといつの間にかやらなくなってしまう。
- ・今年は、除草剤を撒く個所を決めて撒いたので、綺麗な状態が続いた。
- ・ユニットででた不用品は、現在クリーンセンターまで各ユニットで個人のゴミということで捨てに行っているが、来年度からは、以前の様に年に 1、2 回業者に来てもらって、不用品の処分をしたほうが良いと感じた。
- ・月に 1 度は、集まれる日を作り、掃除する場所を決め綺麗にしていきたい。

『安全管理委員会』

1. 防災

- ・避難訓練：各月の担当について、職員会議において担当ユニット・個人名でお願いした方がよい
- ・各ユニットの非常備品について、チェックリストがあるとよい。また皆で集まっての点検の場面があるとよい。
- ・非常時備品について、今年で切れるものがあるので見落とさないようにする。
- ・防災用具の点検必要 発動機の点検（しばらく動かしていないため）
- ・倉庫の点検 清掃をしながら、確認・点検を行いたい。
- ・緊急連絡網の方法を再検討して、早く正確に伝えられるようにしていく。
具体的には、YTE の line での連絡と、line に入っていない職員用に電話連絡網をつくり二本立てにする。

2. リスクマネジメント（事故防止対策の推進）

- ・ヒヤリハットファイルの様式を変更した。どんな内容が出てきたのか集計して職員に示すようにする。
- ・天災・人災等有事の際、安全委員会内でも緊急に動けるように体制を考えておく。

3. 自転車

- ・管理ファイルの作成が不十分であり、各ユニットでも対応してもらうようにする。

- ・点検・修理が不十分。(まめにチェックできるとよい)

ボランティアさんの活用

- ・古いもの、乗れないものを処分すること。
- ・通学用自転車の安全のための点検。把握を行うこと。

4. 公用車

- ・各車の点検を1ヶ月毎に行ったため安全点検がスムーズに出来た。
- ・洗車不十分。特に車内清掃ができていなかった車あり。
- ・使用した人のマナー向上の喚起。特に乗車後のゴミのチェック。
- ・各車にドライブレコーダーを設置してはどうか。
- ・各車の扱い方について、接触等の小さな事故でも必ず報告してもらうよう徹底する。

5. 遊具

- ・定期的にできていた。
- ・情報の共有不足あり。職員会議・朝と午後の打ち合わせ時に情報を提供して危険箇所等をお知らせする。
- ・園庭とのざわホームを分けるフェンスの支えポールが機能していない。

6. 不審者対策

- ・実施する必要がある。(今年度はコロナの影響もあり実施できず)・警察に立ち会ってもらい、アドバイス・指摘等いただく方法も良い。

*日常的に委員会メンバーで情報交換をして、園全体の安全・安心について意識を持って役割を果たしていくことが大切。

『広報委員会』

1 主な活動内容

項目	内容	担当者
広報誌発行	5月、9月、1月の年3回の発行。養護園、養徳園、記事を分担する。作成後、各種関係機関へ発送する。また、ホールと正門の掲示板にも掲示する。	委員会メンバー全員 (養護園 竹村)
ホームページ	養徳園日記更新 職員紹介	主に各ユニット職員
写真管理	写真フォルダー管理	委員会メンバー

カレンダー制作	次年度の手作りカレンダー制作の企画・作成	委員会メンバー
5月兜、クリスマス のデコレーション	5月と12月に玄関ホールに飾る	委員会メンバー
スケジュールの記 入、掲示物張り出し	月のスケジュールを職員室ホワイトボードに記 入。	加藤園長

2 活動記録

第一回（R3.4.14）法人内顔合せ後、養護園と合同

- ①メンバー自己紹介
- ②広報誌作成から発送までの確認
- ③広報誌企画書（71号～73号）
- ④養徳園では70号からあいさつ文を添えているので71号から養護園も入れることにする。

第二回（R3.5.17）

- 広報誌71号の発送作業（研修室にて）

第三回（R3.6月）

- 各自、写真データのバックアップ作業（今年度は平成30年度分）

第四回（R2.7.15）

- ①広報誌71号の振り返り
- ②広報誌72号の検討

第五回（R3.8月）

- ①各自、広報誌72号の原稿作成と第一校正作業
- ②各自、養徳園日記の印刷作業（割り振り：岩瀬）

第六回（R3.9.15）

- 広報誌72号の発送作業

第七回（R3.11.17）

- ①広報誌73号の原稿デザインなどの検討
- ②カレンダー制作の確認

〈分担〉

1月	広報委員会（白鳥）	2月	昨年のも	3月	昨年のも
4月	野辺山の家	5月	すずらん	6月	福田ホーム

7月 なのはな 8月 保育園 9月 あすなろ
10月 たんぽぽ 11月 のざわホーム 12月 オアシスの家

第八回 (R3.12月)

●各自広報誌 73号の分担された原稿作成と校正作業

第九回 (R4.1.19)

●広報誌 73号の発送作業

第十回 (R4.3.7)

●年度末反省会

① 広報誌オアシス

反省

- ・養護園とのやり取りで、意思疎通が難しい。特に今年度は全ページ共通にしたので、企画段階からやり取りが大変だった。
- ・ドロップボックスでの原稿のやり取りで、wordの原稿のレイアウトがズレてしまい、余計な手間がかかってしまった。

今後の課題

- ・春号(5月発行)は3月に企画をしないと、4月の忙しい時期に企画から作成や校正をしなければならない。発行月を1ヵ月ずらしたらどうか。
- ・養護園の広報委員とは年に一度しか会わなかった。年3回の発行なので、企画段階でミーティングをしたらどうか。
- ・毎年の大きな行事(創立記念日、クリスマス会など)は、テンプレート化したらどうか。(そうすれば、記事集めはギリギリでも良くなるので)

② 養徳園日記

反省

- ・ユニット名をタイトルに入れるようにして、見やすくなった。
- ・各ユニットで日記を書く職員が決まっていて、書き方や視点が同じになってしまう。交替制にするとか、毎月必ず載せるテーマを決めるなどの工夫をすると良い。

今後の課題

- ・日記の内容がただの報告になってしまいがち。支援者に職員の関わり方を知ってもらう意味もある

③ その他(スケジュールの記入、掲示物張り出し、データ記録の方法、日記の印刷作業など)

反省

- ・カレンダーの張替え…月初めに本園の広報委員が自主的にやっていたが、うっかり忘れてしまって、2,3日過ぎてしまったことがあった。→広報委員全員が意識して、声かけ合う。
- ・子ども写真データのバックアップ作業…今年度 HDD が壊れてしまった。幸いデータは復旧したが、バックアップの重要性を再認識した。

- ・カレンダー制作の分担は単純にその年の12が月にしたので、わかりやすくなった。
- ・養徳園日記の印刷作業は少し時間がかかるので、職員によっては参加できないこともあった。

今後の課題

- ・バックアップ作業はできる限り迅速に行う

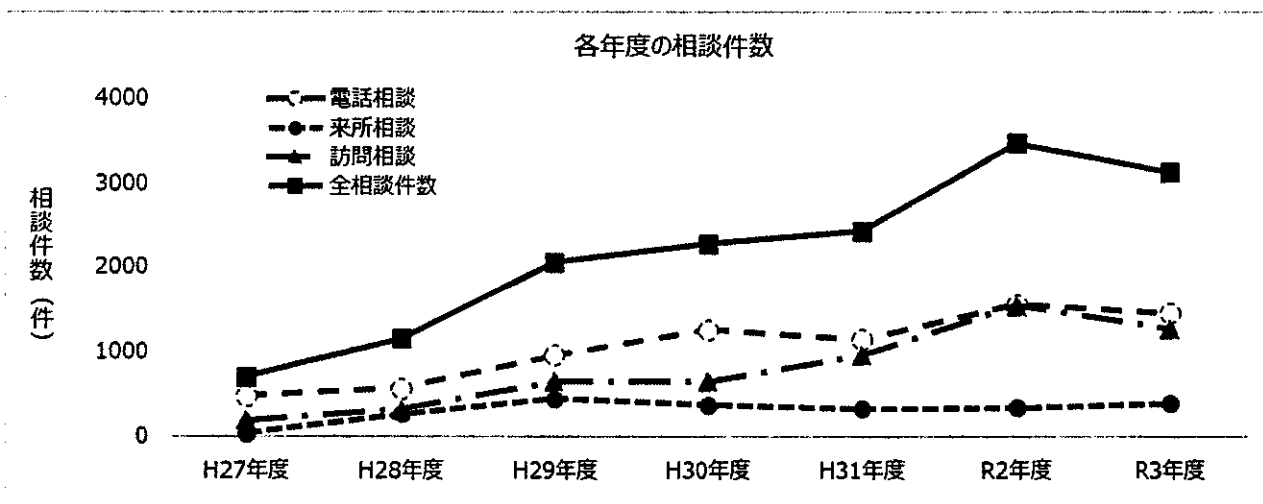
令和3年度 児家センちゅうりっぷ活動報告

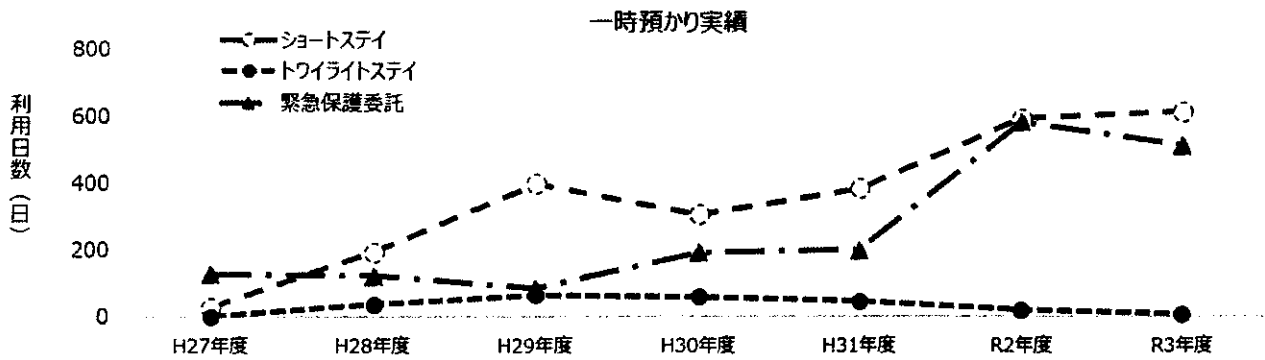
2022（令和4）年3月31日

児童家庭支援センターちゅうりっぷ

【相談件数、一時預かり件数等について】

- 令和3年度相談件数を昨年度と比べると、来所相談が387件で114%と伸びているが、全相談件数3122件は昨年度の90%であり、相談件数は落ち着いている。同様に電話相談は1454件で昨年度の93%、訪問相談は1276件で昨年度の82%である。
- 要対協の参加において、個別ケース検討会議への出席が30件と増えている。（昨年度は16件）困難ケースへのショートステイを含めた支援や、支援が行き詰まったケースへの助言を求められることが増えた。
- ショートステイと緊急一時保護委託の件数は昨年同時期と同様の伸びがあり、トワイライトステイは微減である。一時預かりの申し込み状況について、ショートステイの事前予約日となる月始めは、予約できるすべての日が半日で埋まってしまう。他日ではキャンセル待ちになるか、申込できない状況であった。市町からの申し込みを前提にしており、毎月利用するショートステイの子どもが多く、新規ケースや緊急のケースに対応しきれない状況になっている。
- 緊急一時保護委託は長期にあずかる子が多かった。（一時保護3か月半のケースが3人）長期で預かる子どもの含め、保育園、学校等に、朝夕の送迎をするケースが多く、現場職員による情報交換を密に行うことができた。





	H31(R元)年度	R2年度	R3年度
ショートステイ	173件 383日 (実数 43人)	222件 594日 (実数 50人)	217件 615日 (実数 44人)
トワイライトステイ	44件 44日 (実数 12人)	17件 17日 (実数 6人)	6件 6日 (実数 5人)
緊急一時保護委託	10件 199日 (実数 10人)	16件 584日 (実数 13人)	18件 513日 (実数 18人)
入所	1件 59日 (実数 1人)	2件 36日 (実数 2人)	3件 36日 (実数 2人)
里親レスパイト	—	1件 3日 (実数 1人)	1件 5日 (実数 1人)
子育て短期支援事業契約市町	ショート7市7町 (新規・日光市、真岡市、市貝町) トワイライト2市2町 (新規・市貝町)	ショート7市8町 (新規・茂木町) トワイライト2市3町 (新規・茂木町)	ショート8市8町 (新規・鹿沼市) トワイライト2市3町
要対協への参加	7市町	7市町	7市町
個別ケース検討会議への参加	15回	16回	30回
指導委託	352件 (実数 3人)	744件 (実数 6人)	599件 (実数 7人)
電話相談	162 ケース 1141 件	169 ケース 1560 件	163 ケース 1454 件
来所相談	327 件	341 件	389 件
訪問相談	956 件	1548 件	1276 件
全相談件数	2424 件	3470 件	3122 件

※子育て短期支援事業、緊急一時保護委託、入所、里親レスパイトによる実稼働日数
R2年度 352日 (96.4%) → R3年度 363日 (99.5%)

【指導委託について】

- R3 年度、7 名の指導委託を受ける。(中央児相 4 名、県北児相 3 名) 599 件の相談。月 1~2 回の保護者への家庭訪問、保育園・幼稚園、学校等の訪問、本児への面接を継続する。システム理論、サインズオブセーフティアプローチを利用し、保護者と支援の方向性を確認する。市町主催の要対協個別ケース検討会議を定期的に開催していただき、情報共有と支援の方向性を検討する。
- 施設入所までは至らない、または施設退所後の在宅ケースであり、保護者自身の変容や、家庭環境・親子関係の改善が短期間で見込めない家庭に対し、きめ細やかな対応(必要なら家庭訪問、関係機関の情報共有など)を行う。子育てに関する困り感(または無関心)に対して、保護者の頑張りを応援しながら関係性を作りつつ、具体的な子どもへのかかわり方を提案する。終結は親子の関係改善、子どもの課題が解決するなど、既存のまたは新たに加わった社会資源が本家庭をサポートし、保護者の困り感がなくなるのが目標である。

【虐待予防活動、地域支援について】

- MYTREE ペアレンツ・プログラム (R3 年 8 月~R4 年 3 月) を行う。(矢板市、那須塩原市から計 4 名参加)参加者の感想として、「子育てや子どもへの対応の仕方などで悩み、改善したいと真剣に頑張っているママの話聞くことで、自分だけではないと思えた。一緒に頑張っていきたいと思えた。」「子どもへの対応の仕方(ほめ方、しつけ方など)を具体的に知ることができ、毎日の生活の中で意識できるようになった。」など。主催者として、参加された母親は、自分一人だけが世の中でつらい思いをしていると思ったら、真剣に頑張っている仲間がいることを発見した。セルフケアと問題解決の方法を得て、自分を癒し、冷静になる方法を手に入れることで、自分や子ども、夫との関係を見つめ直していたように思われる。
- 弁当配食プログラム (R3 年 12 月~R4 年 5 月終了予定) は、NPO 法人フローレンス様より助成金をいただき、宇都宮市、さくら市、高根沢町の各児童福祉担当課が把握するヤングケアラー、ネグレクト家庭 5 世帯に世帯全員の弁当を配達している。配達員である民生委員やボランティアが玄関で弁当を渡す中で、関係性を築き、困りごとや支援のきっかけになる活動を行う。市町への情報提供や虐待予防に資する活動につながればと考えている。
- さくら市子育て短期支援事業里親研修相談等業務委託契約を行い、さくら市におけるショートステイ里親の取り組みを推進している。
- さくら市子ども家庭総合支援拠点に係る援助方針会議に 16 回出席 (R4 年 1 月末) し、児童相談所 0B の助言を受けながら、ケースのアセスメント、支援の方向性を検討している。

【来年度(令和 4 年度)に向けて】

- 保護者と子どもが安心して生活できるよう、訪問(アウトリーチ)を重ねて信頼関係を作りつつ、当事者が自らの力で問題を解決する道筋を立てるソーシャルワークを中心にした支援を行う。

- ちゅうりっぷ（養徳園）が子どもの心地よい居場所となり、保護者のレスパイトとなると同時に、保護者のより良き理解者となる支援を目指す。
- 里親ショートステイのような子どもの一時的に預ける社会資源を増やすため、ちゅうりっぷが里親と行政の間をつなぐ支援をする。具体的にショートステイ里親の制度づくり、相談など。
- MYTREE 父親プログラム（新規）と母親プログラムをR4年9月よりとちぎ男女共同参画センター（パーティ）で行う。※MYTREE 父親プログラムは2021年秋に大阪で初めて行われた。2022年は大阪と栃木で開催予定である。
- 自宅以外で、地域の中に安心して過ごせる子どもの居場所を作る支援（さくら市南小学童保育センターでの子ども食堂など）やヤングケアラー、生活困窮世帯へ食事を届けながら支援を組み立てる支援を検討する。

以上

*【時間帯別受信件数】

(単位:件)

管轄児相	無言・いたづら・間違い等					虐待通告以外の相談					関係機関からの事務連絡					虐待通告					その他					計
	中央	県南	県北	不明	計	中央	県南	県北	不明	計	中央	県南	県北	不明	計	中央	県南	県北	不明	計	中央	県南	県北	不明	計	
17:15~18:00				11	11	20	16	4		40	3				3	11	7	2		20					74	
18:00~19:00				30	30	18	8	10	2	38	5		1		6	21	7	4		32					106	
19:00~20:00				14	14	13	16	5		34	3	4			7	12	12	5		29					84	
20:00~21:00				28	28	14	15	2	3	34	3	4		1	8	17	10	2		29					99	
21:00~22:00				22	22	13	9	8	2	32	3	1	2		6	18	13	2		33					93	
22:00~23:00				13	13	9	14	6	1	30	1	2			3	6	13	2		21					67	
23:00~24:00				3	3	11	7		1	19	3		1		4	9	2			11					37	
0:00~1:00				6	6	10	7	2		19	1	3			4	5	4	1		10					39	
1:00~2:00				11	11	3	1	5		9	2	1			3	1	1			2					25	
2:00~3:00				5	5	2	1		2	5	2		1		3	1	2	1		4					17	
3:00~4:00				2	2	3	4			7	2				2	1		1		2					13	
4:00~5:00				2	2	1	2			3						1				1					6	
5:00~6:00				6	6	3	1	1		5						1				1					12	
6:00~7:00				9	9	3	1	2	1	7	1				1	1	1	1		3					20	
7:00~8:30				32	32	8	8	2		18	2				2	6	10	2		18					70	
8:30~9:00				4	4	1	2	2		5	2				2	1	1	1		3					14	
9:00~10:00				14	14	6	5	1	2	14	2	3			5	3	3	2		8					41	
10:00~11:00				10	10	8	8	4	1	21	2	1	1		4	3	9	1		13					48	
11:00~12:00				8	8	6	5	7		18	2		1		3	4	1	2		7					36	
12:00~13:00				10	10	6	5	3	1	15	3	1			4	3	2	2		7					36	
13:00~14:00				3	3	3	6	3	1	13	3	2	1		6	3	4	2		9					31	
14:00~15:00				7	7	5	4	4		13	3	3	2		8	4	2			6					34	
15:00~16:00				6	6	3	10	5		18	1	1	3		5	2	4			6					35	
16:00~17:15				10	10	3	8	4		15	2	4			6	3	3	2		8					39	
計				266	266	172	163	80	17	432	51	30	13	1	95	135	113	35		283					1076	

*【虐待通告以外の相談の内訳】

(単位:件)

児相	虐待相談	養護相談 (虐待を除)	保健相談	障害相談	非行相談	育成相談	その他の 相談	計
中央	7	55	2		3	27	78	172
県南	5	50		1	3	38	66	163
県北		18			1	21	40	80
不明	1	3				3	10	17
計	13	126	2	1	7	89	194	432

*【虐待通告経路の内訳】

(単位:件)

児相	家族	親戚	近隣	児童 本人	児童 委員	保健所	医療 機関	児童 相談 員	警察 等	学校 等	その他	計
中央	21	5	51	18			3	3	10	4	20	135
県南	22	5	46	12				2	6	1	19	113
県北	4	2	17	3			1		3		5	35
不明												
計	47	12	114	33			4	5	19	5	44	283

*【関係機関事務連絡における内訳】

(単位:件)

児相	福祉 事務	児童 委員	保健所	医療 機関	児童 相談 員	警察 等	学校 等	その他	計
中央				8	7	30	1	5	51
県南				3	7	14	2	4	30
県北					6	5	1	1	13
不明					1				1
計				11	21	49	4	10	95

令和3年度 事業報告（氏家養護園）

1. 運営全般について

一昨年度からのコロナ禍において職員・子ども共々感染せず、無事に元気に過ごせたことは何よりであった。まん延防止等重点措置の状況において戦々恐々とする日々。子どもたちも事の重大性を理解し、最低限度の外出等にとどめてくれたおかげで感染を防げたと感謝している。それもこれも職員と子どもたちとの関係性があつてのことである。関係性ができていないと「なんで出かけちゃダメなんだよ!」「友達とかみんな出かけてんじゃん!」等々の言葉が飛び交い、そうなる悪循環で職員との関係性もぎくしゃくしたのになってしまいがちだが、子どもたちが理解を示してくれたことで、良好な関係性が更に深まったと思われる。

夏のキャンプや冬のスキー等々行事は今年度も開催することができなかったが、代替行事として園内でお楽しみ会を行うことで、子どもたちと職員との関係性も新たに構築できたように感じられる場面も多くあつた。とにもかくにも職員と子どもとの関係性ができていないことには何も始まらないので、日常生活を大切にしながら今後も子どもと共に学びあっていきたいものである。

2. 児童の動向

(1) 学年別在籍数（措置児童）

令和3年4月1日現在（みやこ家・琴平の家を含む）

	未就学	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	その他	計
男	3	2	6			2	1	2	1						17
みやこ家											4	1	1		6
女	3		3	1	2			2			1				12
琴平の家												2	1	1	4
計	6	2	9	1	2	2	1	4	1	0	5	3	2	1	39

令和4年4月1日現在（みやこ家・琴平の家を含む）

	未就学	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	その他	計
男	1	2	2	5			1	1	2	2		1			17
みやこ家												4	1	1	6
女	3	1		3	1	1	1					1			11
琴平の家		1		1			1		2				1		6
計	4	4	2	9	1	1	3	1	4	2	0	6	2	1	40

(2) 月別入退所状況

月	性別	初日 在籍数	入所数	退 所 数			その他	月末 在籍数
				家庭復帰	措置変更	就職・自立		
4	男	23					39	
	女	16						
5	男	23					39	
	女	16						
6	男	25	2				42	
	女	17	1					
7	男	26	1				44	
	女	18	1					
8	男	26					44	
	女	18						
9	男	25	1	1			43	
	女	17		1				
10	男	25				1	42	
	女	16						
11	男	24					42	
	女	17						
12	男	24					42	
	女	17						
1	男	25					42	
	女	17						
2	男	25					42	
	女	17						
3	男	26					42	
	女	17						

(3) 委託一時状況

学年・性別	児 相	保護の期間及び理由
未就学・男児	県北児相	4/26～6/30 本児の安全確保
未就学・女児	県北児相	4/26～6/30 本児の安全確保
小5・女児	中央児相	5/14～5/31 本児の安全確保及び養育環境調整
中2・男児	中央児相	5/14～5/31 本児の安全確保及び養育環境調整
高1・男児	中央児相	5/14～5/31 本児の安全確保及び養育環境調整

(4) トワイライト及びショートステイ状況

月	年齢・性別	延日数			
4月			10月		
5月			11月		
6月			12月		
7月			1月	11歳・女児 8歳・男児	2
8月			2月		
9月			3月		
			計		2

(5) 卒業生の進路

幼稚園 ○○ ○○ → さくら市立南小学校1年 (在園)
 ○○ ○○ → さくら市立南小学校1年 (在園)
 ○○ ○○ → さくら市立南小学校1年 (在園)
 ○○ ○○ → さくら市立南小学校1年 (在園)

小学校 ○○ ○○ → さくら市立氏家中学校1年 (在園)

高校生 ○○ ○○ → ○○○○高等学校 普通科 卒業
 ○○学院大学 ○○学部 ○○学科 入学 (進学・自立)
 ○○ ○○ → ○○高等学校 卒業
 ○○○○専門学校 入学 (措置延長)

3. 養護の状況

(1) 給食

- ・嗜好調査を行い、子ども達の声を聞きながら新しいメニューも取り入れた。
- ・朝食・夕食のグループで作れるものはグループで作り、食べることによって、家庭的な環境で会話を楽しみながら食事が出来、団欒する事が出来る様になった。また余った食材等も次の食事に回したり工夫する事によって残食もかなり減った。子どもたちも卵料理などの簡単な調理は進んで行う様子が多く見られた。今後も食事のマナーなどについて、幼児の内から身につけられるよう支援していきたい。

また今後も引き続き、子ども達が楽しく食事が出来る食卓づくりを目標としていきたい。

(2) 健康管理

①健康管理

看護師を配置し、全職員で子どもたちの健康管理に留意し、全体的な健康管理も良好であった。
 (のべ通院人数：552人、通院月平均：46人) 新型コロナウイルス感染症の流行が続いており、施設内での発症を防ぐため今年度はマスクや手指消毒の徹底、室内の消毒、面会・外出・外泊の禁止など、様々な感染対策を実施してきた。その効果もあり、年間を通して施設内における発熱を伴

う感染症の流行はみられなかった。今後も子どもたちが、健康で安全に生活できるように、新型コロナウイルス感染症を含む様々な感染症に対し、その疾患の流行の状況に応じた感染症対策を実施していく必要がある。

また、発達的な課題を持った児童の入所も増えてきており、国際医療福祉大学クリニックや塩谷病院のリハビリテーションセンターに通院し、STやOTを実施している児童も増えている。個々の課題に合わせた学校や生活面での丁寧なサポートが必要とされるため、今後も医療機関や学校と連携しながら支援していく必要がある。

②通院状況（のべ通院人数552人）

内科・小児科（中津川クリニック・おのこどもクリニック・済生会病院・きぬの里クリニックなど）
 ……273人
 歯科（福澤歯科クリニック・スペシャルニーズセンター）……65人
 皮膚科（檜山医院）……57人
 耳鼻科（中川耳鼻科）……22人
 眼科（早坂眼科・自治医大病院など）……52人
 整形外科（半田クリニック・倉持整形外科）……3人
 泌尿器科（自治医大病院）……1人
 リハビリテーションセンター（塩谷病院・国福大病院）……50人
 小児精神科（国福リハセン）……17人

③各種予防接種

四種混合…1人 二種混合…1人 MRワクチン…5人
 インフルエンザ…52人 日本脳炎…6人
 B型肝炎ワクチン…2人 新型コロナウイルスワクチン…14人
 BCG…1人

（3）年間研修実績

令和3年度参加予定研修

県養協

新任職員研修 長谷川 丸山 齊藤玖
 若手職員研修 後藤紀
 中堅職員研修 雫 大根田
 上級・幹部職員研修 小野 大谷典

県養協部会

施設長 大谷 ケアワーカー 桑原 後藤華
 FSW 酒井 調理 雫
 書記 松田 看護師 山形
 心理 竹村 里親 岩瀬

外部研修

関ブロ職員（栃木県当番） 小野 舘野 亀山 竹村 上野 齋藤千
 関ブロ研究協議会（リモート） 園長 全国施設長（リモート） 園長
 指導者研修（こどもの虹リモート） 齋藤千 上野
 SBI（リモート） 桑原 中堅職員（全養協リモート） 竹石
 FSW(全養協リモート) 酒井

その他 被虐待児のケア 性的な問題 発達障害 学習に関する研修 等

令和3年度参加外部研修

月 日	研修名	内 容	場 所	参加者
4. 27	① 栃養協新任職員研修	社会的養護の基本的な理解と養育者の心構え等。	とちぎ青少年センター	長谷川 丸山 齊藤玖
6. 10	② 栃養協新任職員研修	社会的養護の歴史とこれから・マナーとチームに貢献する仕事の進め方。	オンライン講話	長谷川 丸山 齊藤玖
6. 24	① 栃養協中堅職員研修	リービングケアとアフターケア・リーダーシップ、スーパーパイズ	養徳園 オンライン	雫 大根田
7. 8	① 栃養協若手職員研修	施設養育においてアドミッションケアとインケアの子どもの生活支援	オンライン	後藤紀
7. 21	① 栃養協上級・幹部職員合同研修	社会的養護における人材育成の考え方・要点について意識化を図る等	オンライン	小野 大谷典
8. 5	② 栃養協中堅職員研修	新任職員を支えるための指導・教育の方法。子ども間の暴力防止について	養徳園 オンライン	雫 大根田
8. 20	② 栃養協若手職員研修	ペアレントトレーニングの手法を活用した適切な養育技術。	オンライン	後藤紀
9. 9	③ 栃養協新任職員研修	乳幼児期～青年期の発達について理解と対応。他	オンライン	長谷川 丸山 齊藤玖
9. 9	こどもの虹 児童養護施設指導者研修	児童虐待に関する知見を深め、児童養護施設での適切なあり方、指導的職員の資質の向上を図る。	オンライン	齋藤千
9. 14	③ 栃養協若手職員研修	ペアレントトレーニングを活用した支援。	オンライン	後藤紀
9. 21	① アフターケア関係職員研修	発達障害における学齢期（小学生）までの理解と対応。	オンライン	亀山 大谷典
10. 21	② 栃養協上級・幹部職員研修	関係機関との連携 社会的養護における人材育成を取り巻く現状と課題等	オンライン	小野 大谷典
11. 4	④ 栃養協新任職員研修	トラウマを抱える児童に対する支援施設と学校との連携について	オンライン	長谷川 丸山 齊藤玖

11.12	社会的養護に係るアフターケア関係職員研修会	障害福祉サービスについて 障害者就業、生活支援センターについて 障害福祉と連携について	とちぎ青少年センター	亀山
11.19	第9回被措置児童等虐待防止研修会	被措置児童の権利擁護・虐待根絶のために ～組織・職員の根底にある問題とその適切な支援	オンライン	丸山 齊藤玖
12.7	フォスタリング・パートナー講座	尊重するを体験から学ぶ 自分を知る、 子どもを知る、子どもから教わる。	パーティ	岩瀬
12.8	第35回関東ブロック児童養護施設職員研修会	多様なニーズに応える地域支援拠点 ～すべての子どもの育ちを支える社会資源を目指して	オンライン	亀山 大根田 桑原 長谷川 松崎
12.8	第35回関東ブロック児童養護施設職員研修会	多様なニーズに応える地域支援拠点 ～すべての子どもの育ちを支える社会支援を目指して	栃木県総合文化センター	菊池 齋藤好
1.26	県北地区フォスタリング連絡会	里親支援の状況 等	県北児童相談所	岩瀬
1.29 ～30	FLCE フォーラム	社会的養護の健全な発展のために	WEB 開催	岩瀬
2.2	フォスタリング・パートナー講座	子どもの権利擁護と自立支援計画	パーティ	岩瀬
2.3	③幹部職員研修	施設の管理運営について、事例を通して 施設内の問題パターンを理解する 等	オンライン	小野 大谷典
2.18	令和3年度ファミリーソーシャルワーク研修会	ファミリーソーシャルワークの基礎と 求められる役割 等	オンライン	酒井
2.24	児童養護施設等協議会研修	入所児童における児童間性暴力を考える セミナー	リモート	舘野 山形
3.4	児童養護施設等協議会研修	児童養護施設における包括的性教育	オンライン	山形

3. 7 ～14	全国児童養護 施設中堅職員 研修	これからの社会的養育を担う中堅職員 の役割と責 等	リモート	竹石
3. 18	県北地区フォ スタリング連 絡会議	里親支援の状況 今後の課題 等	県北児童相談所	岩瀬

栃養協＝栃木県児童養護施設等連絡協議会 各部会 法人・園内研修は除いています

(4) 行事

日時	行事名	行き先及び内容	参加者
5/3	お楽しみ会	園内 ゲーム等	全児童・全職員
7/7	七夕	園内	全児童
7/26	B&G レクリエーション	鬼怒ゆうゆうパーク	全児童
8/11	お楽しみ会	園内 ゲーム等	全児童
8/25	お楽しみ会	園内 ゲーム等	全児童
9/21	十五夜	園内	全児童
10/30	ハロウィン	園内	全児童
11/3	社会体験	栃木県内各地	全児童・全職員
11/7	七五三	御嶽神社	幼1名・大2名
12/5	ケーキ作り（食育）	園内（食堂）	
12/24	ヒーローショー	園内（食堂）	全児童
12/25	クリスマス会	園内	全児童・全職員
12/28	餅つき	園内	全児童・全職員
12/28	大掃除	園内	全児童・全職員
1/1	DVD 観賞会	園内	在園児童
2/3	節分	園内	全児童
2/23	お楽しみ会	園内各グループ	
3/3	桃の節句	園内	全児童
3/19	卒業を祝う会	食堂	全児童・全職員
3/25	お楽しみ会	園内各グループ	全児童
5/5	ふれあい祭り	コロナの為中止	
	プール	コロナの為中止	
	幼児キャンプ	コロナの為中止	
	小学生キャンプ	コロナの為中止	

	中学生旅行	コロナの為中止	
	高校生旅行	コロナの為中止	
1/1	初詣	分散して実施	
	文化祭	コロナの為中止	
	スキー・スノボ	コロナの為中止	
	福祉まつり	コロナの為中止	
	招待行事	コロナの為中止	
	里親交流会	コロナの為中止	

4. 施設の社会化

(1) 施設実習

国際看護介護保育専門学校	R3. 6. 28 ~ 7. 8	2名
佐野日本大学短期大学	※コロナウイルス流行拡大に伴い、実施せず	
白鷗大学	※コロナウイルス流行拡大に伴い、来年度に延長	
宇都宮共和大学	R3. 5. 31 ~ 6. 10	2名
足利短期大学	※コロナウイルス流行拡大に伴い、実施せず	

合 計

4名

(2) ふれあい里親事業

各里親宅 4名利用

5月30日 ○○○○ 里親 ○○宅

8月7・8日 ○○○○ 里親 ○○宅 (まん延防止期間中だった為、中止)

12月31日・1月1日 ○○○○ 里親 ○○宅

12月31日・1月1日 ○○○○ 里親 ○○宅

○ 里親委託に向けたマッチング

1名

○ 養育体験事業体験者受け入れ

11月6日(土) 里親 ○○○○

○ 里親制度の普及啓発

- ・11月3日(水祝) 栃木県立博物館
- ・11月28日(日) 栃木県総合文化センターサブホール
- ・12月26日(日) ろまんちっく村

- 県北地区里親会行事参加
 - ・ 11月13日(土) レクリエーション 矢板市
 - ・ 2月19日(土) オンライン研修会

- 県北地区里親登録式出席
 - 12月22日(水) 県北児童相談所

- 県北地区里親サロン参加 毎月第4火曜日
 ひよこサロン参加 奇数月第1金曜日
 県南地区里親サロン参加 5月

- 里親支援部会への参加
 - ・ 第01回 5月25日(火)桔梗寮
 - ・ 第02回 7月15日(木)中央児童相談所
 - ・ 第65回 栃木県里親大会について
 - ・ 第03回 9月16日(木)オンライン
 - ・ 第04回 11月18日(木)きずな
 - ・ 第05回 2月10日(木)オンライン
 - ・ 第06回 3月18日(金)県庁研修室

- フォスタリング連絡会議 県北児童相談所(奇数月第4水曜日)
 - ・ 第1回 11月17日(水)
 - ・ 第2回 1月26日(水)
 - ・ 第3回 3月18日(金)

- 里親応援会議出席
 - 11月26日(金)
 - 〇〇里親(フォスタリングパートナーとして)

- 家庭訪問
 - 〇〇里親宅(中央) 1回(〇〇〇〇 外出に向けて)
 - 〇〇里親宅(県北) 2回(委託後支援)

- 里親カフェ(フォスタリングセンター)の手伝い
 - 12月4日(土) フォスタリングセンター

- 研修参加
 - ・ フォスタリングパートナー講座
 - ・ 10月7日(木) とちぎ福祉プラザ
 - ・ 12月7日(火) パルティ
 - ・ 令和4年2月2日(水) パルティ
 - ・ 栃木県里親大会 10月24日(日) オンライン
 - ・ フレックフォーラム 1月29日(土)~30日(日) オンライン
 - ・ フォスタリング機関職員研修 2月17日(木)~18日(金) オンライン

- ・栃木県里親会全体研修 2月28日(月) オンライン
- ・新規委託里親研修 3月11日(金) オンライン

(3) ボランティアの受け入れ

- 余暇支援・・・・・・・・・・さくら市教育委員会スポーツ振興課 (7/26)
公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団
株式会社 Spes アクティビティ那須
- 奉仕作業・・・・・・・・・・さくら市更生保護女性会 (12/9)
- ヒーローショー・・・・・・・・オオイワタイムズ トチノキット (12/24)
- 定期的な寄付・・・・・・・・マルハン氏家店 (お菓子)
宇都宮仁愛グループ (お菓子)
くるまやラーメン：齋藤保夫 (食材)
植木武 (食材)
大野賢 (食材)
神山拓弥 (食材)
佐藤利廣 (食材)
小倉商店 (食材)
松崎屋 (食材)
水檜久雄 (食材)
妙福寺 (食材)
チュチュアンナ1%クラブ (靴下)
POST・DE・BLE (パン)

(4) 施設見学 コロナの為、自粛

5. 各グループ事業報告

<おおぞらグループ>

(1) 子どもの構成

- | | | |
|-----------|-------|-------------------|
| ① 中学1年生男児 | 氏家中学校 | |
| ② 小学6年生男児 | 南小学校 | |
| ③ 小学5年生男児 | 南小学校 | |
| ④ 小学2年生男児 | 南小学校 | |
| ⑤ 小学2年生男児 | 南小学校 | |
| ⑥ 小学2年生男児 | 南小学校 | → 令和3年5月よりだいちから移動 |
| ⑦ 小学2年生男児 | 南小学校 | → 令和3年9月より琴平の家へ移動 |
| ⑧ 小学1年生男児 | 南小学校 | |
| ⑨ 小学1年生男児 | 〇〇〇学校 | |
| ⑩ 幼稚園年長男児 | 〇〇幼稚園 | → 令和3年5月よりだいちから移動 |
| ⑪ 幼稚園年長男児 | 〇〇幼稚園 | → 令和3年9月より琴平の家へ移動 |

⑫ 幼稚園年中男児 ○○幼稚園 → 令和3年7月入所

(2) 職員構成

小野明美 (保育士・グループリーダー)
後藤紀子 (保育士)
大根田枝里子 (保育士)
福田恵理 (保育士) → 令和4年1月より琴平の家へ異動
丸山翔太 (指導員)

(3) 通学状況

氏家中学校 1名 (自転車)
南小学校 7名 (徒歩)
○○○学校 1名 (スクールバス)
○○幼稚園 2名 (幼稚園バス)
○○幼稚園 1名 (幼稚園バス)

(4) グループ行事

11月 社会体験 (とちの木ファミリーランド)
2月 食事会

(5) 定期通院状況

宇都宮済生会病院・小児科	1名	1ヶ月	1回
国際医療福祉大学塩谷病院 (リハビリ)	2名	1ヶ月	1回
おのこどもクリニック	3名	1ヶ月	1回 (服薬)
中川耳鼻科	1名	1ヶ月	1回 (服薬)

(6) 生活状況

- ・活発な子が多く賑やかだった。
- ・全員順調に、登園・登校が出来た。
- ・小学生の学習する習慣は身につけているが、中学生の学習については、宿題以外の家庭学習がなかなか定着しない。
- ・年上の子が、年下の子を可愛がり面倒を見る姿も見られたが、年下の子の騒がしさに我慢できず、年上の子が年下の子に対し、強く当たってしまうことも見られた。
- ・同年代の子のトラブルが目立った。
- ・整理整頓が苦手な子が多く、部屋が散らかることも多いが、少しずつ自分なりに片付けようとする姿が見られるようになってきた。

(7) 今後の課題

- ・健康に留意し、元気に過ごす。

- ・挨拶、お礼が言えるようにする。
- ・思いやりの心が養える様支援する。
- ・自分の持ち物の整理整頓ができ、物を大切にすることを養えるよう支援する。
- ・中学生の家庭学習の習慣化を図る。
- ・様々な社会体験を通して、自分にできることを見出すとともに、自己肯定感が持てるよう支援していく。

<だいちグループ>

(1) 子どもの構成

- | | | | | |
|---|---------|------------|--------|--------------------|
| ① | 高校1年生男児 | 県立〇〇〇〇高等学校 | 6月1日入所 | 9月よりみやこ家へ移動 |
| ② | 中学2年生男児 | 氏家中学校 | 6月1日入所 | |
| ③ | 中学3年生男児 | 氏家中学校 | | |
| ④ | 中学1年生男児 | 氏家中学校 | | ※自閉症・情緒障害特別支援学級に在籍 |
| ⑤ | 小学5年生男児 | 南小学校 | | |
| ⑥ | 小学2年生男児 | 南小学校 | | |
| ⑦ | 小学2年生男児 | 南小学校 | | |
| ⑧ | 小学2年生男児 | 南小学校 | | 5月おおぞらグループへ移動 |
| ⑨ | 幼稚園年長男児 | 〇〇幼稚園 | | 5月おおぞらグループへ移動 |
| ⑩ | 幼稚園年長男児 | 〇〇幼稚園 | | |

(2) 職員構成

- | | | |
|------|------------------|--------------------|
| 齋藤好一 | (統括主任) | |
| 舘野義博 | (児童指導員・グループリーダー) | |
| 桑原亮太 | (児童指導員) | |
| 永井健二 | (児童指導員) | 令和3年9月そよかぜグループより移動 |
| 片岡弘江 | (児童指導員)(常勤的非常勤) | |
| 竹村有貴 | (心理士) | 令和3年9月そよかぜグループへ移動 |

(3) 通学状況

- | | |
|------------|-----------------|
| 県立〇〇〇〇高等学校 | 1名(自転車、電車、徒歩通学) |
| 市立氏家中学校 | 3名(自転車) |
| 市立南小学校 | 5名(徒歩) |
| 〇〇幼稚園 | 2名(バス) |

(4) グループ行事

- 10月 社会体験(栃木市大平フォレストアドベンチャー)
- 3月 グループお楽しみ会(食事会)
- 年1回 担当児との外食交流

(5) 定期通院状況

国際医療福祉大学リハビリテーションセンター	1名：中1男児・月1回・服薬
国際医療福祉大学病院	1名：小2男児・年2回定期通院
おの子どもクリニック	2名：中2男児・2か月に1回 服薬 小2男児・月1回 服薬
氏家皮膚科	3名：小5男児・月1回 塗布薬 小2男児・月1回 服薬、塗布薬 年長男児・月1回 塗布薬

(6) 生活状況

- ・前年度末入所もありメンバーが大きくかわり年度がスタートする。子どもたちと外で遊ぶ時間を多くとり、一緒に時間を楽しむようにした。日課に対しては各学年や年齢に合わせて支援することができた。入浴の順番など子どもたち自身が考えながら生活を送っている様子があったが、状況に応じて順番を変更する事に納得しない児もおり納得できるよう説明を重ねた。
- ・4月の幼稚園児の誕生日会で歌を歌ってお祝いしたいとの発案が子どもたちからあり、子どもたちが中心になり内容をねり披露してくれた。誕生者やほかの児童も喜んでいて。その後の他の子の誕生会でも毎回行われ恒例のお楽しみ行事となっていく。
- ・健康に留意して過ごすことができ、病気をすることなく無事に学校生活を送ることができた。
- ・被措置児童への虐待が起きてしまった。それに伴い、職員の変更も行われた。たとえどんな理由があるとしても二度と起こさないよう意識を徹底し改善していかなければならない。
- ・グループの職員間での情報共有や支援方法などについて、話し合う機会を作り行っていたが、それが徹底されず大きな課題となった。
- ・子どもたちの気持ちに寄り添うという意識のもとケアにあたっていたが、そればかりに意識がいつてしまうこともあった。グループ、全体で確認をしケアにあたらなければならないことを再認識した。
- ・学校状況については、中学1年男児の遅刻が多かった。中学校の意義、進路に関して再三話をし、担任とも連携し遅刻を減らしていく必要があった。中学2年男児は部活に励む姿がみられたが、他生徒とのトラブルが何度かあり対応に苦慮した。
- ・中学生が性的な話題に興味をもち、書籍を持っていたり、性的な言葉をいうことがあった。それに対しては随時、園長、職員より話をしマナーなどを教えていった。

(7) 今後の課題

- ・子どもたちの成長に喜び、大切にされる経験を子どもたちに提供していけるよう職員間で細かく情報を共有できるようにする
- ・その時のみの対応でなく、先を考えた支援を行っていく
- ・子ども個々が居心地の良さを感じて生活ができるように支援していく。
- ・日々の生活を通して、子どもたちが思いやりの心を育ていけるように関わる。
- ・健康に留意して、心身ともに健やかに成長をしていけるように見守っていく。
- ・個々に合った基本的な生活習慣を身に付けていけるよう支援する。

- ・学習に対して、意欲的に取り組み習慣化に繋がるよう学習支援をしていく。
- ・受験生には進路決定に向けて、子どもと話をし自己決定できるよう支援していく。
- ・自立を視野に入れ、部活動や様々な活動を通して社会性を養って行けるように支援していく。

<ひだまりグループ>

(1) 子どもの構成

- | | |
|-----------|----------|
| ① 高校1年生女兒 | 〇〇〇〇高等学校 |
| ② 小学4年生女兒 | 南小学校 |
| ③ 小学3年生女兒 | 南小学校 |
| ④ 小学2年生女兒 | 南小学校 |
| ⑤ 幼稚園年長女兒 | 〇〇幼稚園 |
| ⑥ 幼稚園年中女兒 | 〇〇幼稚園 |

(2) 職員構成

- | | |
|-------|------------------|
| 上野奈穂 | (指導員、グループリーダー) |
| 長谷川友美 | (保育士) |
| 齋藤玖弥 | (保育士) |
| 酒井春子 | (ファミリーソーシャルワーカー) |

(3) 通学状況

- | | |
|-------|----------------|
| 高等学校 | 1名 (自転車、電車、バス) |
| 南小学校 | 3名 (徒歩) |
| 氏家幼稚園 | 2名 (通園バス) |

(4) グループ行事

- 社会体験 (11月)
 →電車を利用して、宇都宮ベルモールにて映画鑑賞、買い物、食事
 お楽しみ会 (2月)
 →園内にて行なう

(5) 定期通院状況

- | | | |
|------------|----|-------------|
| 檜山医院 | 2名 | 月1回 (服薬) |
| おのこどもクリニック | 2名 | 月1回 (服薬) |
| はやさか眼科 | 1名 | 3か月に1回 |
| 早坂眼科 | 1名 | 2ヶ月に1回 |
| 塩谷病院 | 1名 | 月2回 |
| | 1名 | 1カ月に1回 (服薬) |

(6) 生活状況

- ・定員が6名で、それぞれが落ち着いた雰囲気の中で、生活することができた。
- ・持病のある子どもは服薬しているが、とても健康的で元気に生活出来ていた。
- ・小学生は学校の宿題を終わらせる習慣が身に付き、まじめに取り組むことができた。
- ・時々欠席してしまう子もいたが、長引くことなく登校できていた。
- ・コロナ下で行事が思うようにできなかった。さらに子どもたちは外出等を思うようにできなかったけれど、子どもたちは我慢してくれて、とてもありがたかった。

(7) 今後の課題

- ・コロナ等感染症にかからないため、手洗いうがい、消毒、マスクの着用を促す等健康に留意し、毎日元気に過ごす。
- ・個々の生活スタイルを重視し、子どもそれぞれに合った支援を職員全員で考え、チームで支援していく。
- ・子どもと大人の間で信頼関係を形成し、お互いに尊重し合えるような関係を結ぶ。

<そよかぜグループ>

(1) 子どもの構成

① 幼稚園年中女児	〇〇幼稚園	令和3年4月1日	ひだまりグループより移動
② 幼稚園年中女児	〇〇幼稚園	令和3年7月2日	入所
③ 小学2年生女児	南小学校	令和3年4月1日	ひだまりグループより移動
④ 小学2年生女児	南小学校	令和2年4月1日	
⑤ 小学5年生女児	南小学校	令和3年6月1日	入所
⑥ 中学1年生女児	氏家中学校	平成31年4月1日	
⑦ 中学1年生女児	氏家中学校	平成31年4月1日	

(2) 職員構成

齋藤千尋	(保育士・グループリーダー)	
永井健二	(児童指導員)	令和3年9月だいちグループへ移動
後藤華織	(児童指導員)	
小暮千晴	(保育士)	
竹村有貴	(心理士)	令和3年9月だいちグループより移動

(3) 通学状況

〇〇幼稚園	1名 (バス)
〇〇幼稚園	1名 (バス)
南小学校	3名 (徒歩)
氏家中学校	2名 (自転車)

(4) ユニット行事

- | | |
|-----|-----------|
| 8月 | グループ調理 |
| 10月 | グループ調理 |
| 10月 | 社会体験 |
| 1月 | グループ調理 |
| 3月 | グループお楽しみ会 |

(5) 定期通院

- | | |
|------------|--------------------|
| 小2 女兒 | おのこどもクリニック 月1回 |
| | リハセン通院 月2回 |
| 年中 女兒 | おのこどもクリニック 月1回 |
| 年中 女兒 | リハセン通院 月1回 |
| 小6 女兒 (2名) | 自治医大病院・斜視外来 1回/2カ月 |

(6) 生活状況

- ・コロナ禍で外出や行事等がなかなかできない状況で、グループ内でのお楽しみ会や調理などを取り入れ、子ども達が楽しく生活を送れるような工夫を行った。
- ・毎日元気に登園・登校が出来た。
- ・中学生の学習が定着せず、促してもなかなか勉強に取り掛かることが難しかった。

(7) 今後の課題

- ・できたことは十分に認めてあげ、自分に自信を持てるような関わりを意識していきたい。また、初めてのことや出来ないことにも積極的に取り組みながら、子ども達が達成感を感じられるような生活を目指したい。
- ・コロナ禍においても、子ども達が楽しんで生活が送れるように、一緒に考え楽しみを持って生活が送れるようにする。
- ・子どもと大人の間で信頼感を形成し、お互いに尊重し合えるような関係を結ぶ。
- ・グループの職員の報告・連絡・相談の徹底をしていく。

<みやこ家>

(1) 子どもの構成

- | | | |
|-----------|----------|-------------------|
| ① 高校3年生男児 | 〇〇高等学校 | 措置延長に伴い次年度も在園 |
| ② 高校2年生男児 | 〇〇高等学校 | |
| ③ 高校1年生男児 | 〇〇〇〇高等学校 | 令和3年3月28日に本園から異動 |
| ④ 高校1年生男児 | 〇〇高等学校 | 令和3年3月28日に本園から異動 |
| ⑤ 高校1年生男児 | 〇〇〇〇高等学校 | 令和3年3月28日に養徳園から異動 |
| ⑥ 高校1年生男児 | 〇〇〇〇高等学校 | 令和3年3月28日に本園から異動 |

(2) 職員構成

三ツ俣 悟 (保育士・グループリーダー)
松崎 剛史 (児童指導員)
福田 亘 (児童指導員)
長内紀代子 (非常勤)

(3) 通学状況

各自、徒歩や自転車、定期券を購入して公共交通機関を利用して通学している。

(4) ユニット行事

令和3年	7月26日	海洋性レクレーション体験会(ゆうゆうパーク) 参加児童：4名
	8月11日	お楽しみ会(本園) 参加児童：2名
	12月25日	クリスマス会(みやこ家) 参加児童：全員
	12月28日	餅つき(本園) 参加児童：3名
令和4年	3月19日	卒業を祝う会 参加児童：全員

※ 子どもの誕生日会を実施

※ 自立支援専門相談員から情報提供を受けて、とちぎユースアフターケア主催の自立支援プログラムへ参加をした。

(5) 定期通院

- ・中川耳鼻咽喉科医院 男児4名 ※アレルギー症状の状況に合わせて通院
- ・かとう眼科 男児2名 ※定期視力検査、コンタクトレンズ購入
- ・斎藤矯正歯科 男児1名 ※歯列矯正のため

(6) 生活状況

- ・氏家養護園から高校1年生3名が異動。養徳園から高校1年生1名が入所をして、計6名でスタートした。それぞれが自分のペースで落ち着いて生活をする事ができており、1年間を通して穏やかな雰囲気でも過ごす事ができた。高校生ということもあり、ルールなどはほとんど設けなかった。共に生活をしていく中で、考え方の違い、生活習慣の違いなど、気になることがあったときには、職員が同席した状況で意見し合った。その中でお互いのことを知り、どうしていくことが良いのか一緒に考えながら生活を組み立てていく機会を持つ事ができた。食事や入浴が遅くなったり周りに迷惑をかけてしまうような生活、行動には、個人を注意するのではなく、その行為自体に目を向けて、全体に話をするように日々コミュニケーションを。自ら時間を考え起床

することが出来る子どもから影響を受けて、他の子どもたちも意識をして過ごしている様子が見られた。コロナの影響により、分散登校やリモート授業など、様々な状況に対応しながら、全員が1年間順調に登校することができた。また、途中で部活を変更してしまうケースもあったが、全員が自主的に部活動に取り組むことができた。

- ・特にパワーリフティング部に所属する1年生の児童は、県大会で1位の成績を収めることができた。また、野球部に所属する1年生の児童は、特待生として日々の練習に一生懸命取り組んでいる。
- ・今年度は、卒業後の進路や自立を考えて、アルバイトを行う児童が4名いた。
- ・4名がアレルギー症状による定期通院を行った。また、1名が本年度から歯列矯正を行うため月1回の定期通院を開始。
- ・体調不良などの場合、職員の付き添いで適時通院した。運動部に所属する子どもが、骨折、捻挫、打撲などの怪我を負ってしまう事があり整形外科への通院が多くみられた。
- ・3年生男児が、希望していた専門学校から6月に合格をもらうことができ、早い段階で進路の実現をすることができた。そのため、余裕をもって入学に向けての準備をすることができた。
- ・家族と連絡を取り合える児童は、各自で連絡を取っていた。園や学校での状況に変化があった際には職員からも随時連絡をするようにした。卒園後の方向性の確認など、共に考えてもらう必要がある場合にも、随時報告を入れ連絡を取り合うようにしている。また、必要であれば話し合いの機会を設けた。園からの連絡は取れない場合には、児相と連携をして状況確認をしている。
- ・コロナの状況や影響を考えながら、家族との面会や外出を行った。

(7) 今後の課題

- ・安定した高校生活を送れるよう支援する。
- ・部活やアルバイトを通して社会性を身につけていけるように支援をしていく。
- ・進路の実現に向けて、情報の提供と共有をしていく。
- ・自立後のイメージを持てるようにリービングケアの充実を図っていく。
- ・ひとり暮らしの手続きや準備などについて子どもたちと一緒に考える機会をつくる。

<琴平の家>

(1) 子どもの構成

- | | |
|-----------|------------------------|
| ① 18歳女児 | 就労支援(9月23日措置解除) |
| ② 高校3年生女児 | 〇〇〇〇高等学校(3月31日措置解除) |
| ③ 高校2年生女児 | 〇〇〇〇高等学校(3月31日家庭戻し) |
| ④ 高校2年生女児 | 〇〇〇〇高等学校 |
| ⑤ 小学4年生女児 | 南小学校(8月14日家庭戻し) |
| ⑥ 小学2年生男児 | 南小学校(8月14日家庭戻し) |
| ⑦ 小学2年生男児 | 南小学校(8月26日日本園から琴平に移動) |
| ⑧ 幼稚園年長男児 | 〇〇幼稚園(8月26日日本園から琴平に移動) |

(2) 職員構成

大谷典子 (保育士 グループリーダー)
竹石朋浩 (児童指導員)
佐藤晴美 (児童指導員) (1月に養徳園に移動)
手塚真弓 (非常勤保育士) (2月末付退職)
福田恵理 (保育士) (1月に本園から琴平に移動)
渋谷啓子 (非常勤) (3月から勤務)

(3) 通学状況

〇〇〇〇高校 2名 (自転車、電車、バス)
〇〇〇高校 1名 (自転車、電車、バス)
南小学校 3名 (徒歩)
〇〇幼稚園 1名 (通園バス)

(4) ユニット行事

5月 3日 お楽しみ会 (本園行事に参加)
8月 11日 お楽しみ会 (本園行事参加)
10月 10日 ハロウィンパーティー (本園行事に参加)
12月 25日 クリスマス会 (琴平にて行う)
12月 12日 餅つき (本園行事に参加)
3月 19日 卒業を祝う会 (本園行事参加)

- * 定期、高校生を主に対象としたユースアフター主催の自立支援プログラムに参加。
(コロナの影響で中止が多かった。)
- * 子どもの誕生会実施 (希望に応じてのメニューを作りお祝い)

(5) 定期通院

- ・高校2年生女兒 氏家病院に通院 (12月8日初診) 適応障害との診断。
- ・セルトラリン、エビリファイ、ムコスタ服用 月2回受診

(6) 生活状況

- ・6名でのスタートとなった。8月に小学生姉弟が家庭戻しになり、本園から年長、小学2年生の兄弟が琴平に移動。
- ・18歳就労支援の女子が9月に就職が決まり措置解除。
- ・高校3年生大学進学のため3月措置解除。
- ・高校2年生家庭戻しのため3月措置解除。
- ・高校生バイト行方が長続きせず。

(7) 今後の課題

小学生 基本的な生活習慣を身につけて、家庭学習を定着させる。
思いやる心を育てる。

愛着の形成により課題を解決していく。

中学生 社会性を身につける。

学習と部活動の両立。

現実を伝えながら高校へ行く意識付けをしていく。

高校生 安定した学校生活の充実。

目標を持ち達成する経験を体験させる。

自立に向けての情報提供、社会生活を営む力を培う。

アルバイトを通じて社会性を身につける。

互いに学び合い、成長し合う関係を作る。

・令和4年度の目標

家庭的な環境での支援を実施しながら、子どもたちの家として安心した当たり前の生活が営んでいけるようにしていきたい。

振り返りながらケアをよく出来るように心掛ける。

小学生 甘えが沢山出せるようにしていきたい。

中学生 学習と部活動の両立と共に高校進学を意識付けをしていく。

高校生 高校卒業をめざし高校生活への充実を図ると共に社会性を身につける。

高校生としての自覚を持ち、家事を行うことにより生活スキルの向上を目指す。

子どもと職員との共有時間を沢山持てるようにする。

8. 各支援グループ反省

①余暇支援グループ

令和3年4月20日（火）参加者：亀山、大根田、丸山、齋藤(玖)、臼井、永井

【実施内容】

- ・令和3年度 行事担当割振り
- ・コロナウイルスの影響により、5/5に予定していたふれあい祭りは中止となる。
- ・園長に予算を確認後、職員全体に周知できるようにしていく。
- ・ふれあい祭りの中止に伴い、5月3日にお楽しみ会実施予定。

令和3年7月20日（火）参加者：亀山、大根田、丸山、齋藤(玖)、臼井、永井

【実施内容】

- ・行事確認
 - 7月 26日 ゆうゆうパークでのスポーツ体験
 - 8月6・7日 小学1・2年生キャンプ
 - 8月8・9日 幼児キャンプ
 - 8月19・20日 小学3年生～キャンプ
- ・キャンプについては、今後コロナ感染の状況により実施の有無を検討する。
- ・7月21日あたりから家庭用プールを出して遊べるように用意していく。
- ・8月25日にお楽しみ会を実施予定。

令和3年10月19日(火) 参加者：亀山、大根田、丸山、齋藤(玖)、臼井、永井

【実施内容】

- ・今後の予定について

10月～11月初め	社会体験実施
12月25日	クリスマス会
2月	スキー旅行
3月	卒業を祝う会

- ・社会体験については予算各グループ10万円程度で計画を立て実施していく方向。
- ・スキー旅行はコロナの状況にもよるが、予約は行い状況を見て判断していくことにする。
- ・卒業を祝う会は実施はするものの、外部の方を呼ぶかについては要検討。

ー伝達事項ー

七五三対象：〇〇〇〇

節分の担当が後藤(紀)さんに変更になる

里親交流会と福祉まつりはコロナの影響で中止となる。

令和4年1月18日(火) 参加者：亀山、大根田、丸山、齋藤(玖)、臼井、永井

【実施内容】

- ・今後の予定について

初詣、文化祭、スキースノーボード旅行はコロナの影響で中止とする。

1月23日	宇大モノづくりオンラインで行うか検討中
2月 3日	節分
3月 3日	桃の節句
3月19日	卒業を祝う会

- ・園長より、今年度もコロナの影響で外出や行事等が出来なかったため、子どもたちに欲しいものをひとつ買ってあげたいとのことで今年度中の購入を検討している。
- ・きらりさくら市：養徳園と養護園合同で国営ひたち海浜公園に行くことを検討中。

<今年度の反省>

- ・今年度の関しても、コロナウイルスの影響により行事が予定通りに行うことができずに中止となってしまったが、社会体験だけは、各グループの迅速な協力のもと実施できたことは良かった。また、お楽しみ会などの行い子どもたちの楽しむ機会を設けたが、内容や準備に課題が残ったため、次年度に引き継いでいきたい。
- ・次年度に向けては、引き続きコロナウイスの影響はあると思うが、臨機応変に対応しながら活動を実施できるようにしていきたい。

②子ども会議グループ

令和3年4月20日(火) 参加者：長谷川、後藤(紀)、小林、菊池

【実施内容】

- ・子ども会議の目的や意義、進行の仕方について確認を行う。
- ・今年の子ども会議(子どもを含めた)で話し合う内容のテーマについての確認を行う。

令和3年4月20日(火) 参加者：在園児童(小2～高1)、長谷川、後藤(紀)、小林、菊池

【実施内容】

- ・小学2年生(19:30～20:00)、小学3～6年生(20:00～20:30)、中学生・高校生(20:30～21:00)に分けて、研修室にて行う。
- ・子ども会議は何をする場なのか、意見箱について、子ども会議の日程について確認を行う。
- ・子どもの意見を拾う為に用紙に、意見や思っていること等を自由に記入してもらう。
- ・聞き取った意見については職員で話し合い、次回の子ども会議にて返答する事を伝える。

令和3年5月18日(火) 参加者：在園児童(小2～高1)、長谷川、後藤(紀)、小林、菊池

【実施内容】

- ・小学2年生(19:30～20:00)、小学3～6年生(20:00～20:30)、中学生・高校生(20:30～21:00)に分けて、研修室にて行う。
- ・前回の子ども会議で出た意見の返答を行う。
- ・その他に何か意見がある子には用紙に記入してもらい、次回の子ども会議で返答する事を伝える。

令和3年6月15日(火) 参加者：在園児童(小2～高1)、長谷川、後藤(紀)、小林、菊池

【実施内容】

- ・小学2年生(19:30～20:00)、小学3～6年生(20:00～20:30)、中学生・高校生(20:30～21:00)に分けて、研修室にて行う。
- ・前回の子ども会議で出た意見の返答を行う。
- ・職員よりミーティングの使い方について再度確認を行って欲しいという声があった為、ミーティングの使い方について確認を行う。

令和3年7月20日(火) 参加者：長谷川、後藤(紀)、小林、菊池

【実施内容】

- ・意見箱の中に入っていた子どもたちの意見の確認、共有を行う。
- ・本日の子ども会議の議題の確認を行う。

令和3年7月20日(火) 参加者：在園児童(小2～高1)、長谷川、後藤(紀)、小林、菊池

【実施内容】

- ・小学2年生(19:30～20:00)、小学3～6年生(20:00～20:30)、中学生・高校生(20:30～21:00)に分けて、研修室にて行う。
- ・文化祭実行委員より、コロナウイルスの状況でどの様に文化祭を開催するのか、開催しないのかはまだ決まっていないが、子ども達に開催するとしたらどんな事をやりたいか意見をきいて欲しいとのお願いがあった為、意見を聞く。

- ・前回の子ども会議で下駄箱に自分の物で無い靴が入っているとの苦情があった為、確認の話をを行う。

令和3年9月14日(火) 参加者：在園児童(小2～中学生)、長谷川、小林、菊池

【実施内容】

- ・小学2年生(19:30～20:00)、小学3～6年生(20:00～20:30)、中学生・高校生(20:30～21:00)に分けて、研修室にて行う。
- ・意見箱に入っていた意見についての返答を行う。
- ・夏休み中に行なったお楽しみ会についての感想や意見を聞く。
- ・他に何か意見があれば、意見箱に入れて欲しいことを伝える。

令和3年10月19日(火) 参加者：長谷川、小林、菊池

【実施内容】

- ・意見箱に入っていた意見についての確認、共有を行う。
- ・本日の子ども会議の議題の確認を行う。

令和3年10月19日(火) 参加者：在園児童(小2～中学生)、長谷川、小林、菊池

【実施内容】

- ・自転車係が自転車のパンク修理を行ってくれた事を伝え、自転車の乗り方について再度確認を行う。
- ・ミーティングルームの本棚を子どもが主体となって整理してくれていた事を伝える。また使用した本は元の場所に戻し、綺麗な状態を保てるようにしてほしいと伝える。
- ・その他に何か意見がある子には用紙に記入してもらい、次回の子ども会議で返答する事を伝える。

令和3年11月16日(火) 参加者：在園児童(小2～中学生)、後藤(紀)、小林、長谷川

【実施内容】

- ・前回の子ども会議の際に、「バランスボールの使い方が危ない」との意見があった。そのため、バランスボールの使い方について話し合い、子どもたちで「バランスボールの使い方」についてのルールを決めてもらうこととした。
- ・その他に何か意見があるかを確認する。

令和3年1月18日(火) 参加者：後藤(紀)、小林、長谷川、菊池

【実施内容】

- ・本日の子ども会議の議題について確認を行う。
- ・みんなの声に入っていた意見の確認を行う。

令和3年1月18日(火) 参加者：在園児童(小2～中学生)、後藤(紀)、小林、長谷川、菊池

【実施内容】

- ・ブレイブボード、スケートボードについての安全な乗り方について、伝える。
- ・バランスボールの使い方について11月に出た意見をもとに、ルールを作り職員に確認をしてもらった。のちに遊ぶ人数や時間も決めた方が良いとの意見が職員から出たため、11月に引き続きバラン

スポールの使い方について詳しくルールを考えていくこととした。

令和3年2月22日(火) 参加者：在園児童(小2～中学生)、後藤(紀)、小林、菊池

【実施内容】

- ・11月と1月に話し合ったバランスボールの使い方について、子ども会議で出た意見をもとにルールを作成し職員に確認を行ったのち、本日の子ども会議でバランスボールの使い方のルールについて伝えた。
- ・今年度のこども会議は本日で終了すること、みんなの声は常に設置してあるため何か意見等がある場合にはみんなの声に入れて欲しいことを伝える。

○今年度の子ども会議の反省

- ・みんなの声の設置場所を職員玄関から子ども玄関に移したことで、少しずつではあったが意見が入るようになった。
- ・以前子ども会議の日程について、子どもから「今月はやるの?」といった声があった。そのため本年度は第3火曜日に子ども会議を行うとした。子どもにも「第3火曜日に子ども会議を行う。」と伝えたことで、定期的に子ども会議を行うことが出来た。

③食育会議グループ

- ・各グループで好きな肉料理、魚料理を夕食の献立を決めてもらい献立に取り入れた。
- ・畑で栽培した野菜を収穫して、メニューに取り入れることによって子ども達も積極的に野菜を食べてくれるようになり収穫するのを楽しみにしている様子が見れるようになった。
- ・食育の一環として工場見学を行う予定だったが、コロナウイルス感染拡大のため中止した。

④生活支援グループ

第1回(4月20日)

○今年度に活動内容の確認。

- ・昨年度に引き続き、コロナ感染予防のため消毒を行うことにする。
- ・子どもたちが基本的な生活習慣を身に付けられるよう、1か月から2か月に1つ生活習慣の重点目標を提示・説明・を行い、各グループで継続し定着を図る。

第2回(7月20日)

○園庭などの清掃・除草

○蜘蛛の巣除去

第3回(10月19日)

○玄関・廊下・ソファの消毒

○傘の整理

○廊下及び館内の蜘蛛の巣除去

○花壇周りの除草

第4回（1月18日）

○今年度の反省

- ・ 日常業務や通年業務を滞りなく行うことができた。
- ・ 生活習慣を身に付けるための重点目標を設定したことで、子どもたちが意識して生活するようになってきたので継続していきたい。
- ・ 重点目標については、次年度に継続する物や新しく加えるものを検討する。

<重点目標>

- ・ 手洗い・爪切り・洗濯物の畳み方・靴の洗い方・洗髪・起床から登校までに行うこと

<日常業務>

- ・ 室内消毒や本棚の整頓等を行い、子ども達が生活しやすい空間づくりに努める。

<通年業務>

- ・ 職員玄関、子ども玄関の清掃
- ・ 職員、子どもの傘立ての確認
- ・ ミーティングルームの本棚の整理整頓
- ・ ゴミステーションの清掃
- ・ 廊下、手すり等の消毒

<臨時業務>

- ・ カーテンの洗濯・蜘蛛の巣除去・落ち葉清掃・遊歩道の除草

⑤研修グループ

【第一回】性教育研修（5月18日）

職員が持っている性に関するアンテナを共有するために、生活していて気になる言動等について共有を図った。（アンケートを実施し、結果を集計したものを共有）

【第二回】普通救命講習（6月15日）

AEDの使い方や心肺蘇生法についての講習を受講した。

【第三回】被措置児童虐待防止研修（11月16日）

グループ内で見られる子どもの気になる言動について話し合い、虐待によらない子どもとの関わり方について意見を出し合った。

【第四回】被措置児童虐待防止研修（2月22日）

グループの枠にとらわれず、子どもとのやり取りで困っていることを共有し、虐待によらない子どもとの関わり方について意見を出し合った。

※園内で被措置児童虐待が発生したことを鑑み、年度後半は被措置児童虐待防止に関する研修を行った。

- ・ 人権擁護、人権侵害防止の為のチェックリストの実施（5月、12月、2月）
- ・ 児童養護施設における人権擁護の為のチェックリストの実施（3月）

9. 総括

今年度もまたコロナウイルスに振り回される一年であったが、幸いなことに職員・子ども共々感染

することなく元気に過ごせたことは何よりであった。今後もまだまだ予断を許さない状況が続くと思われるが最大限の警戒をし、子どもたちと楽しみながら生活を送っていきたいと考えている。

一方、国の方向性で近年、里親養育へとシフトチェンジしている中で、入所児童が減ってきており定員数を維持することがなかなか難しくなっている現状も垣間見られるようになってきている。さらに職員募集をかけてもあまり集まらないことなども鑑み、来年度も一昨年度の「琴平の家」同様、地域小規模児童養護施設「みやこ家」をグループに転換し、総定員数を40名にしたいと考えているところである。施設の地域化、分散化、小規模化の流れにおいても変革期でありちょうど良いタイミングともいえる。

しかしながら子どもに対する思いは時代が変わってもそうそう変わるものではないはずであるため当法人の理念「養徳器成」“明るく・素直に・温かく”をモットーに、児童福祉のさらなる向上に努め児童福祉の変革期の波にのった運営ができるよう研鑽を積み重ねていきたい。

令和3年度 南小学童保育センター年間行事報告

1.活動のねらい

1. 安全と安心を第一目的とし、心休まるアットホームな居場所を提供する。
2. 家庭との連携をはかり、不測の事態に的確に対応できるよう努める。
3. ボランティア団体等と連携をし、地域の中で豊かな心身を育む。

2.在籍児童数 令和3. 4. 1現在 196名

		男	女	計
1年	A	31	22	53
2年	B	18	23	42
3年	E	22	20	42
4年	C	11	19	30
6年	C		5	5
5年	D	8	10	18
6年	D	8		8
		98	99	197

3. 主な行事 ①1・2年生(A・B センター)

主な行事	月日	参加人数A	参加人数B	主な行事	月日	参加人数A	参加人数B
鯉のぼり製作	4/28	49	36	敬老の日プレゼント製作	9/14	30	17
誕生会	4/30	48	31	ハロウィンお面製作	10/7	44	35
母の日カード製作	5/7	47	29	ハロウィンお面製作	10/22	46	31
誕生会	5/31	51	38	誕生会(9月10月生)	10/20	42	26
父の日カード製作	6/7	53	37	ハロウィンお面製作	10/27	30	15
誕生会	6/30	45	36	ハロウィンパーティー	10/30	47	31
七夕飾り製作	6/28	51	35	誕生会	11/30	41	31
誕生会	6/30	45	36	避難訓練	12/7	39	29
誕生会	7/14	47	32	クリスマス飾り製作	12/3	38	31
ミニ夏祭り	7/27	35	29	クリスマスツリー製作	12/6	47	33
工作教室	7/28	34	25	Xmas会・お誕生会	12/15	45	29
工作教室	8/17	34	24	絵馬・こま製作	1/6	31	18
お楽しみビンゴ大会	9/19	37	27	季節の工作(鬼のコップ)	1/26	33	20
誕生会	8/31	40	22	誕生会	1/31	38	29
				雛飾り製作	2/21	40	25
				お楽しみ会	3/2	41	27
				誕生会(2月3月生)	3/9	37	23

主な行事 ②3年生(E分室)

主な行事	月日	参加人数E	主な行事	月日	参加人数E
鯉のぼり製作	4/28	36	敬老の日プレゼント製作	9/13	37
誕生会	4/30	36	ハロウィンお面製作	10/27	23
母の日カード製作	5/7	34	誕生会(9月10月生)	10/20	34
誕生会	5/31	39	ハロウィンパーティー	10/29	39
父の日カード製作	6/14	40	誕生会	11/30	31
誕生会	6/30	39	避難訓練	12/7	33
七夕飾り製作	7/1	38	クリスマス飾り製作	12/6	31
誕生会	7/14	36	Xmas会・お誕生会	12/15	45
誕生会	7/27	35	絵馬・こま製作	1/6	22
工作教室	7/28	29	誕生会	1/31	29
工作教室	8/11	31	節分のお祝い	2/3	25
ミニ夏祭り	8/19	32	飾り製作	2/21	32
誕生会	8/31	32	お楽しみ会	3/2	30
			誕生会(2月3月生)	3/9	28

③4～6年生(C・D プール棟)

主な行事	月日	参加人数C	参加人数D	主な行事	月日	参加人数C	参加人数D
鯉のぼり製作	4/28	28	22	敬老の日プレゼント製作	9/13	19	10
誕生会	4/30	21	21	誕生会(9月10月生)	10/20	23	15
母の日カード製作	5/7	24	17	ハロウィンお面製作	10/22	21	10
誕生会	5/31	30	23	ハロウィンパーティー	10/30	47	31
父の日カード製作	6/14	28	24	誕生会	11/30	23	13
誕生会	6/30	26	19	避難訓練	12/7	22	11
七夕飾り製作	7/1	23	13	クリスマス飾り製作	12/3	18	14
誕生会	6/30	26	19	Xmas会・お誕生会	12/15	22	15
誕生会	7/14	26	17	絵馬・こま製作	1/6	31	18
ミニ夏祭り	7/27	13	8	節分の壁面製作	1/6	31	18
工作教室	8/3	16	11	誕生会	1/26	17	
お楽しみビンゴ大会	9/19	14	11	節分のお祝い	2/3	18	13
誕生会	8/31	21	19	6年生を送る会	3/2	2311	27
				誕生会(2月3月生)	3/9	37	23